

令和5年度
男女共同参画についての
中学生アンケート調査報告書

令和6年（2024年）3月

生 駒 市

目次

I 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の方法	1
3. 報告書の見方	1
II 調査結果	3
1. 回答者の属性	3
(1) 性別	3
2. 性別についての思い込みについて	4
(1) ジェンダーバイアス	4
(2) 項目ごとのジェンダーバイアス	5
(3) ジェンダーバイアスに対する心境	7
3. 男女の立場の平等について	8
(1) 男女の立場の平等性	8
(2) 学校生活の場面での男女の平等性	10
4. 日常の役割分担について	12
(1) 家庭内での役割分担	12
(2) 将来の職業選択	14
(3) 家事の役割分担についての認識	17
(4) 子育ての役割分担についての認識	19
(5) 稼ぎ手の役割分担についての認識	21
(6) 「男は仕事・女は家庭」についての認識	23
5. 恋人同士の関係について	25
(1) 恋人同士の関係	25
(2) 交際相手への対応のしかた	27
6. 心の性と体の性について	30
(1) 身体や心の性についての悩み	30
7. 男女共同参画について	31
(1) 男女共同参画についての知識	31
(2) 施策の認知	32
(3) 困った時の相談相手	34
8. 自由記述	36
III アンケート調査のまとめ	37
IV 資料・使用した調査票	40

I 調査の概要

1. 調査の目的

生駒市では、「生駒市男女共同参画行動計画（第3次）」（以下「現計画」という。）の期間満了（令和6年度末）に伴い、現計画策定・改訂後の社会情勢の変化や新たな課題に対応するため、令和7年度から10年間を計画期間とする「生駒市男女共同参画行動計画（第4次）」（以下「次期計画」という。）を策定する。その検討のため、男女共同参画の現状、課題や認識の状況などについて、基礎資料を得ることを目的に本調査を実施した。

2. 調査の方法

中学生を対象とした調査

調査対象：市内公立中学校3年生（全員）

調査方法：インターネットによる（学校で使用するタブレットから回答）

調査期間：令和5年9月1日～令和5年10月18日

回収状況：依頼件数／1,039件

有効回答数／716件

有効回答率／68.9%

3. 報告書の見方

- (1) 比率は全てパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出したため、パーセントの合計が100%にならないこともある。
- (2) 複数回答が可能な質問では、構成比の母数は回答数とし、その項目を選択した人が全体の何%なのかという見方をした。そのため、各項目の比率を合計しても100%とはならない。
- (3) 本報告書の表の見出し及び文章中での回答選択肢の表現は、趣旨が変わらない程度に簡略化して掲載されている場合がある。
- (4) 報告書中のグラフにおいて、性別の「どちらともいえない、または答えたくない」の表記はスペースの都合上「どちらともいえない」と表記している。
- (5) 本調査は標本調査ではないが、参考として標本誤差の値を掲載する（信頼度95%、母集団数1039、令和5年5月1日現在生徒数）。

$$\text{標本誤差} = \pm 1.96 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

N=母集団数
n=回答者数
P=回答比率

図表 本調査における標準誤差早見表

回答比率 有効回答数	5%(95%)	10%(90%)	20%(80%)	30%(71%)	40%(60%)	50%
10人	13.4%	18.5%	24.7%	28.3%	30.2%	30.9%
30人	7.7%	10.6%	14.1%	16.2%	17.3%	17.6%
100人	4.1%	5.6%	7.5%	8.5%	9.1%	9.3%
300人	2.1%	2.9%	3.8%	4.4%	4.7%	4.8%
716人	0.9%	1.2%	1.6%	1.9%	2.0%	2.0%

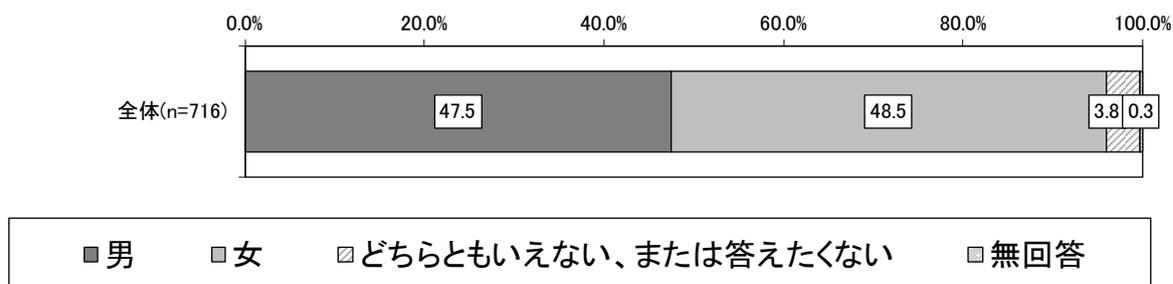
Ⅱ 調査結果

1. 回答者の属性

(1) 性別

- 回答者の性別についての割合は、「男性」と「女性」がほぼ同じ割合で、「どちらともいえない」は3.8%となっている。

図表 性別-全体



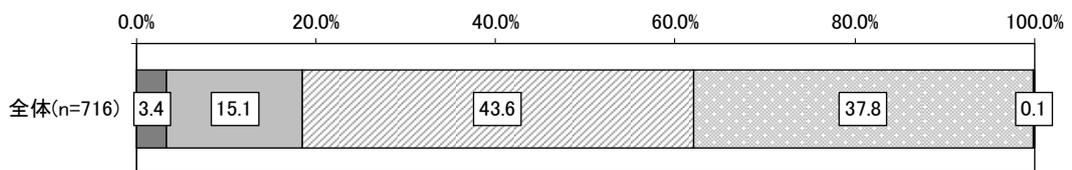
2. 性別についての思い込みについて

(1) ジェンダーバイアス

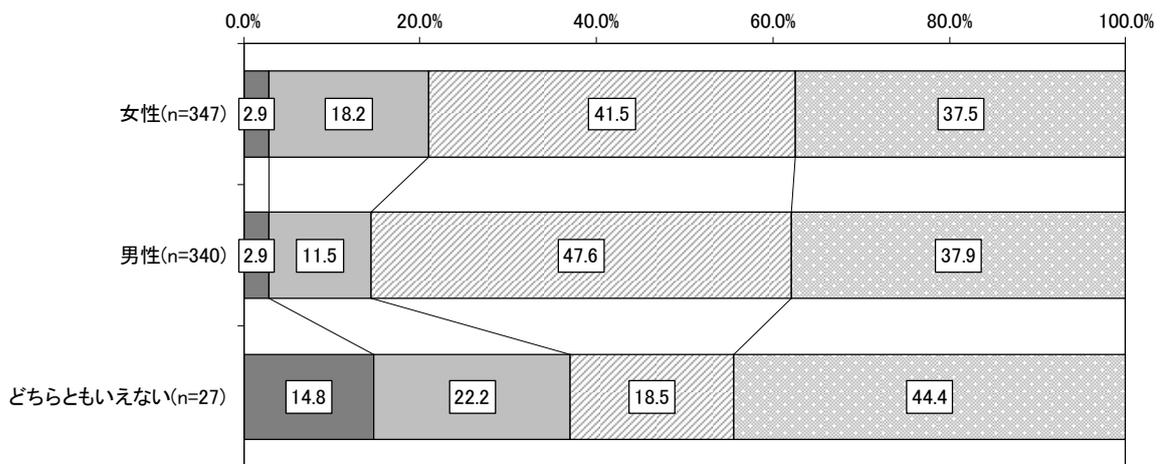
問1-1 あなたは誰かから、「男だから〇〇するべき」や「女だから〇〇するべき」のように言われることはありますか。あてはまる番号を1つだけ選んで○をつけてください。(○は1つ)

- 全体の18.5%が「よく言われる」もしくは「ときどき言われる」と回答している。
- 男女間では、「よく言われる」、「ときどき言われる」の回答は、女性21.1%、男性14.4%と、女性の方が高くなっている。どちらともいえないは37.0%と、他と比べて高くなっている。

図表 ジェンダーバイアス-全体



図表 ジェンダーバイアス-性別



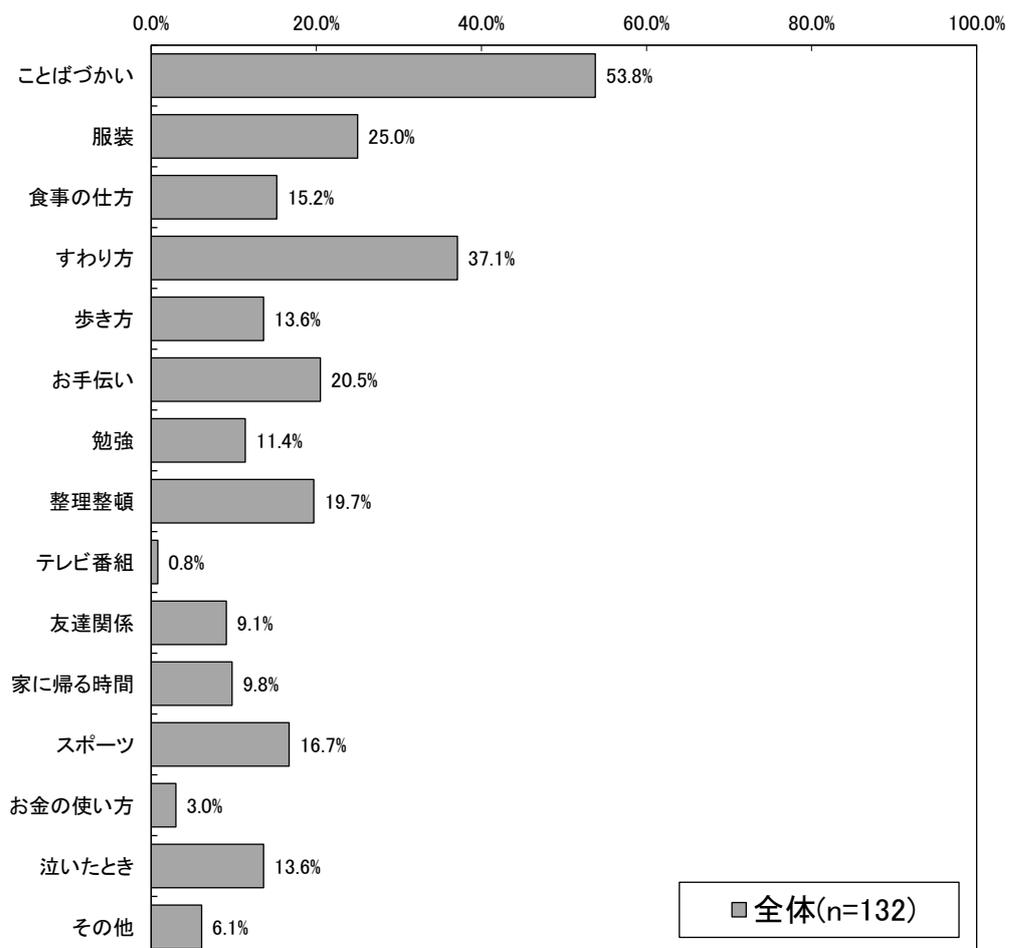
よく言われる
 ときどき言われる
 めったに言われぬ
 ぜんぜん言われぬ
 無回答

(2) 項目ごとのジェンダーバイアス

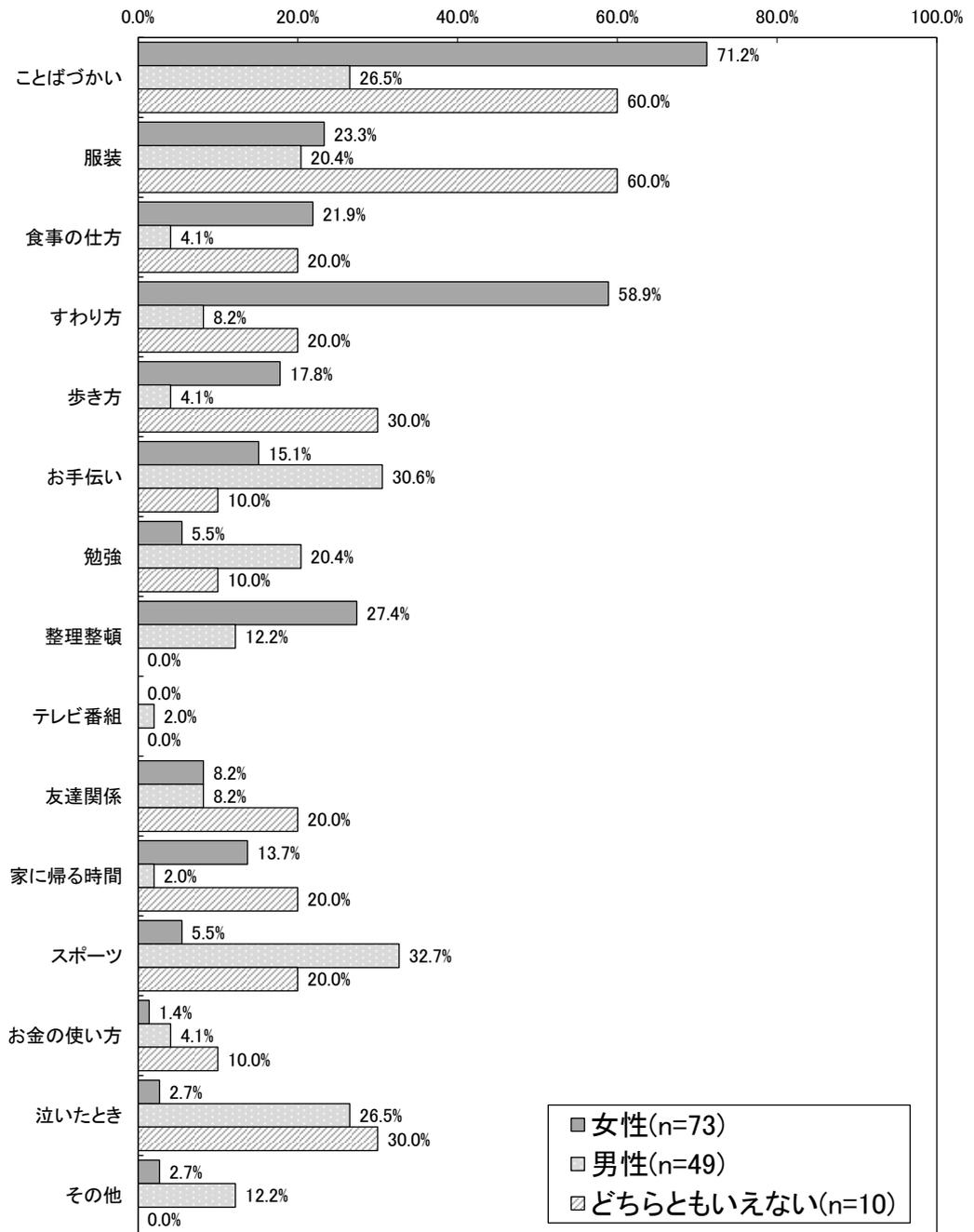
問1-2 問1-1で「よく言われる」または「ときどき言われる」と答えた方に聞きます。どんなことについて言われますか。あてはまる番号全部に○をつけてください。(○はいくつでも)

- 全体では、「ことばづかい」が最も高く 53.8%で、「すわり方」が 37.1%、「服装」が 25.0%などとなっている。
- 性別では大きな差が見られ、男性は、「スポーツ」が最も高く 32.7%で、「お手伝い」が 30.6%、「ことばづかい」、「泣いたとき」が 26.5%などと高くなっている。
- 女性は、「ことばづかい」が最も高く 71.2%で、「すわり方」が 58.9%、「整理整頓」が 27.4%などと高くなっている。
- どちらともいえないは、「ことばづかい」、「服装」が最も高く 60.0%で、「歩き方」、「泣いたとき」が 30.0%などとなっている。
- 大人から言われている場合が多いと考えられ、大人の固定概念がこどもに影響していることがうかがえる。

図表 項目ごとのジェンダーバイアス-全体



図表 項目ごとジェンダーバイアス-性別

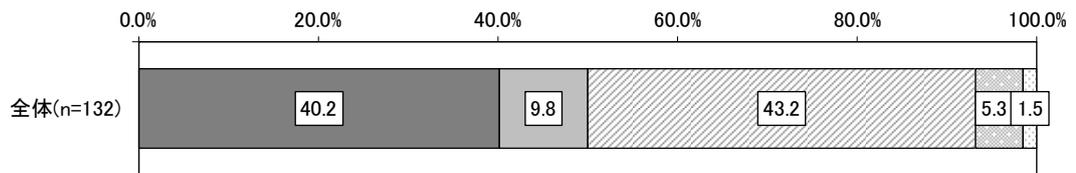


(3) ジェンダーバイアスに対する心境

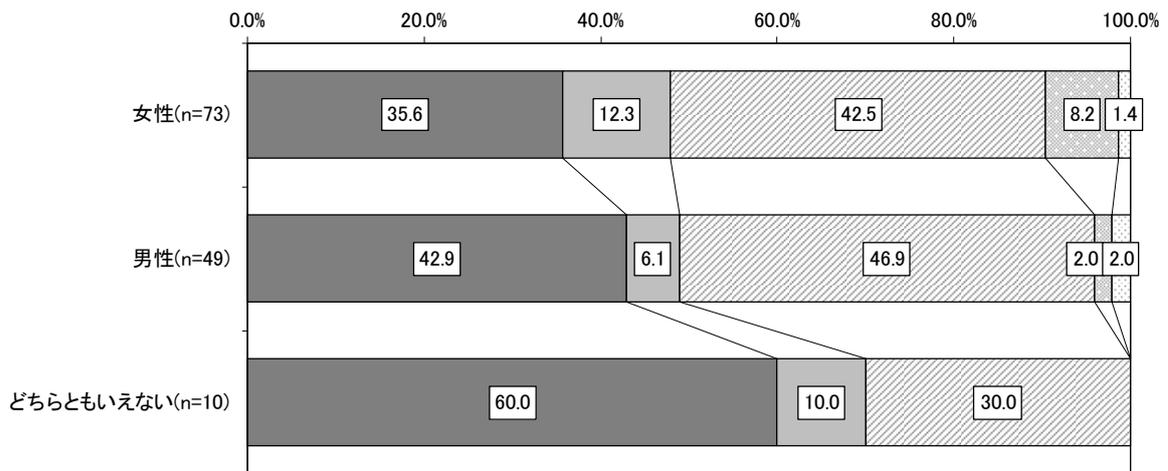
問1-3 問1-1で「よく言われる」または「ときどき言われる」と答えた方に聞きます。あなたはその時どんな気持ちになりましたか。あてはまる番号を1つだけ選んで○をつけてください。(○は1つ)

- 全体では、「いやな気持ちでした」が40.2%、「その通りだと思った」が9.8%、「なんとも思わなかった」が43.2%などとなっている。
- 性別では、「いやな気持ちでした」と回答したのは、どちらともいえないが60.0%と、男性の42.9%や女性の35.6%に比べて高く、また、男性は女性より7.3ポイント高くなっている。

図表 ジェンダーバイアスに対する心境-全体



図表 ジェンダーバイアスに対する心境-性別



いやな気持ちでした
 その通りだと思った
 なんとも思わなかった
 その他
 無回答

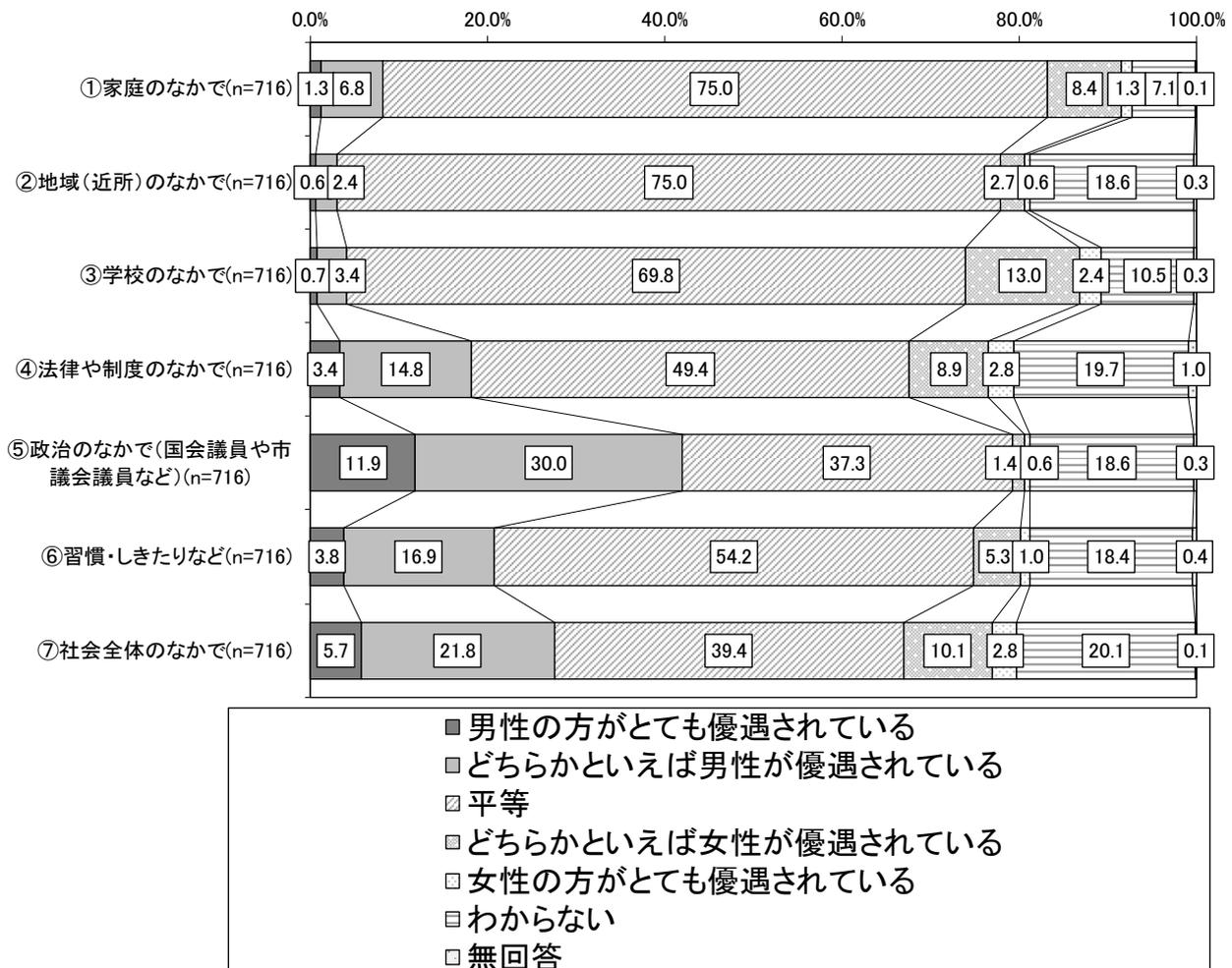
3. 男女の立場の平等について

(1) 男女の立場の平等性

問2 次の①～⑦の場面で、男女の立場は平等になっていると思いますか。あてはまる番号を1つだけ選んで○をつけてください。(①～⑦ごとに○は1つ)

- 「男性の方がとても優遇されている」、「どちらかといえば男性が優遇されている」を合わせた回答率（以下：男性優位）が最も高いのは、「⑤政治のなかで（国会議員や市議会議員など）」（41.9%）となっている。この項目の「女性の方がとても優遇されている」、「どちらかといえば女性が優遇されている」を合わせた回答率（以下：女性優位）は2.0%と、他と比べても低い。
- 続いて、「⑦社会全体のなかで」（男性優位 27.5%、女性優位 12.9%）、「⑥習慣・しきたりなど」（男性優位 20.7%、女性優位 6.3%）などの項目で、男性優位の回答率が高く、女性優位の回答率が低い。他に、「④法律や制度のなかで」（男性優位 18.2%、女性優位 11.7%）も、わずかながら男性優位の回答率の方が高い。
- 女性優位の回答率が最も高いのは「③学校のなかで」（女性優位 15.4%、男性優位 4.1%）となっている。
- 男性優位、女性優位が拮抗しているのは、「①家庭のなかで」、「②地域（近所）のなかで」となっている。

図表 男女の立場の平等性-全体



- 「③学校のなかで」、「⑦社会全体のなかで」においては、男性が「女性優位」を回答する割合が高くなっている。

図表 男女の立場の平等性-性別

(%)

		男性の方が とても優遇 されている	どちらかとい えば男性 が優遇され ている	平等	どちらかとい えば女性 が優遇され ている	女性の方が とても優遇 されている	わからない	無回答
①家庭のなかで	女性	1.2	9.2	71.5	8.9	0.6	8.6	0.0
	男性	1.2	4.4	79.4	8.2	2.1	4.7	0.0
	どちらともいえない	3.7	7.4	66.7	3.7	0.0	18.5	0.0
②地域（近所）の なかで	女性	0.0	2.3	73.8	2.3	0.0	21.6	0.0
	男性	0.6	2.6	77.9	2.6	1.2	14.7	0.3
	どちらともいえない	7.4	0.0	59.3	7.4	0.0	25.9	0.0
③学校のなかで	女性	0.3	4.3	73.2	9.2	0.0	12.7	0.3
	男性	0.9	2.1	68.5	17.1	4.4	7.1	0.0
	どちらともいえない	0.0	7.4	48.1	11.1	7.4	25.9	0.0
④法律や制度の なかで	女性	4.0	16.7	43.8	7.2	0.9	26.5	0.9
	男性	1.5	13.2	56.2	10.9	4.7	12.6	0.9
	どちらともいえない	14.8	11.1	40.7	7.4	3.7	22.2	0.0
⑤政治のなかで （国会議員や市議会 議員など）	女性	11.8	32.3	31.4	0.6	0.3	23.3	0.3
	男性	11.5	27.9	44.7	2.1	0.9	12.9	0.0
	どちらともいえない	18.5	29.6	22.2	3.7	0.0	25.9	0.0
⑥習慣・しきたり など	女性	3.2	17.9	49.9	5.8	0.3	22.8	0.3
	男性	3.8	15.0	60.9	5.0	1.2	13.8	0.3
	どちらともいえない	11.1	25.9	29.6	3.7	7.4	22.2	0.0
⑦社会全体のなかで	女性	4.6	23.9	37.5	7.2	0.9	25.9	0.0
	男性	5.3	19.7	43.2	13.2	4.4	14.1	0.0
	どちらともいえない	22.2	22.2	18.5	7.4	7.4	22.2	0.0

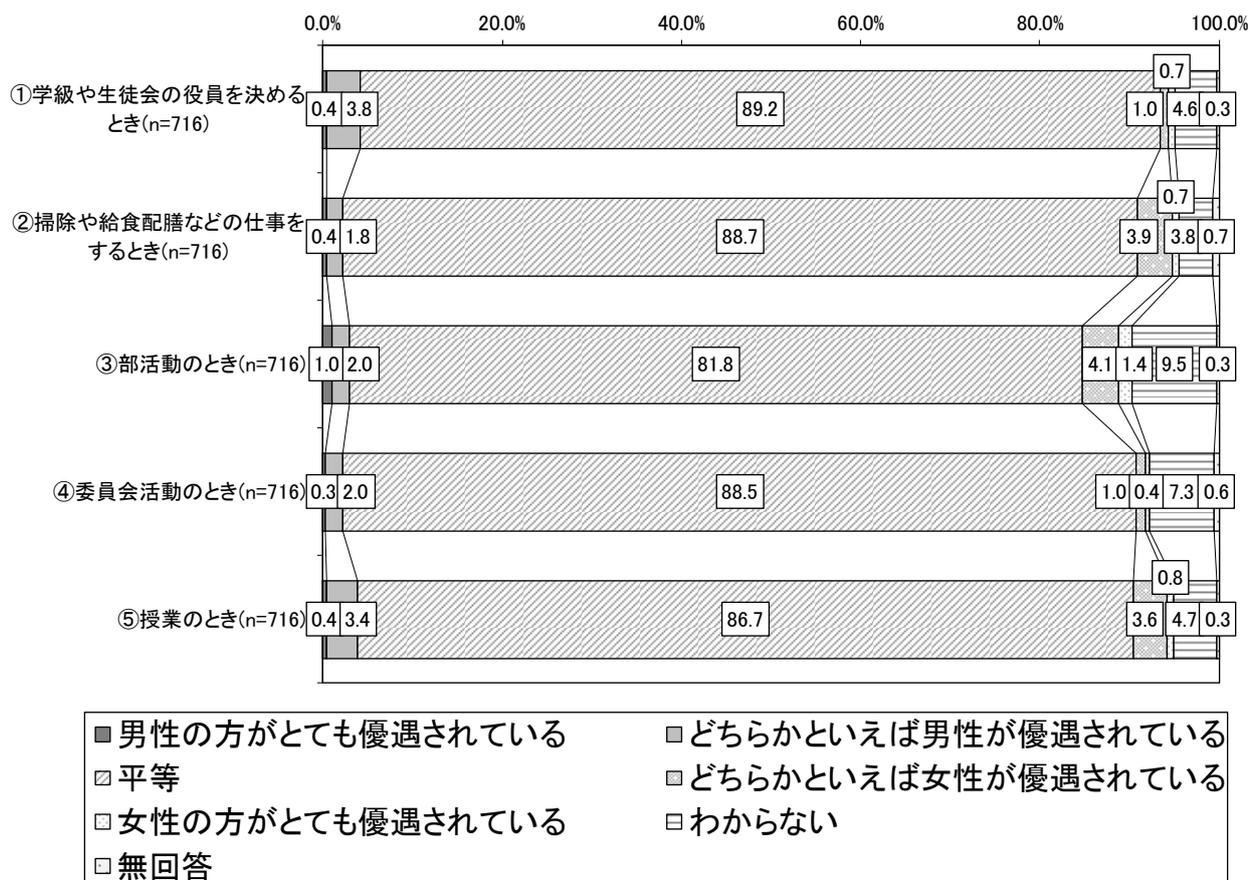
男性（n=340） 女性（n=347） どちらともいえない（n=27）

(2) 学校生活の場面での男女の平等性

問3 あなたは、次にあげるような学校生活の場面で、男女は平等になっていると思いますか。あてはまる番号を1つだけ選んで○をつけてください。
(①～⑤ごとに○は1つ)

●すべての項目において、「平等」と回答した人が、80%を上回っている。

図表 学校生活の場面での男女の平等性-全体



●すべての項目において、男性、女性で大きな差は見られなかった。

図表 学校生活の場面での男女の平等性-性別

(%)

		男性の方が とても優遇 されている	どちらか といえば男性 が優遇され ている	平等	どちらか といえば女性 が優遇され ている	女性の方が とても優遇 されている	わからない	無回答
①学級や生徒会の 役員を決めるとき	女性	0.3	4.9	89.0	0.6	0.0	4.9	0.3
	男性	0.3	2.4	90.3	1.5	1.5	4.1	0.0
	どちらとも いえない	3.7	7.4	81.5	0.0	0.0	7.4	0.0
②掃除や給食配膳な どの仕事を するとき	女性	0.0	2.9	87.9	4.3	0.3	4.0	0.6
	男性	0.6	0.6	90.0	3.5	1.2	3.5	0.6
	どちらとも いえない	3.7	3.7	85.2	3.7	0.0	3.7	0.0
③部活動のとき	女性	0.9	1.7	83.0	3.5	0.3	10.4	0.3
	男性	0.9	2.4	82.4	3.8	2.4	8.2	0.0
	どちらとも いえない	3.7	0.0	63.0	14.8	3.7	14.8	0.0
④委員会活動のとき	女性	0.0	2.6	87.6	0.6	0.0	8.6	0.6
	男性	0.6	1.2	90.0	1.5	0.9	5.6	0.3
	どちらとも いえない	0.0	3.7	85.2	0.0	0.0	11.1	0.0
⑤授業のとき	女性	0.3	3.7	85.9	3.2	0.0	6.6	0.3
	男性	0.6	2.6	88.5	3.8	1.5	2.9	0.0
	どちらとも いえない	0.0	7.4	77.8	7.4	3.7	3.7	0.0

男性 (n=340) 女性 (n=347) どちらともいえない (n=27)

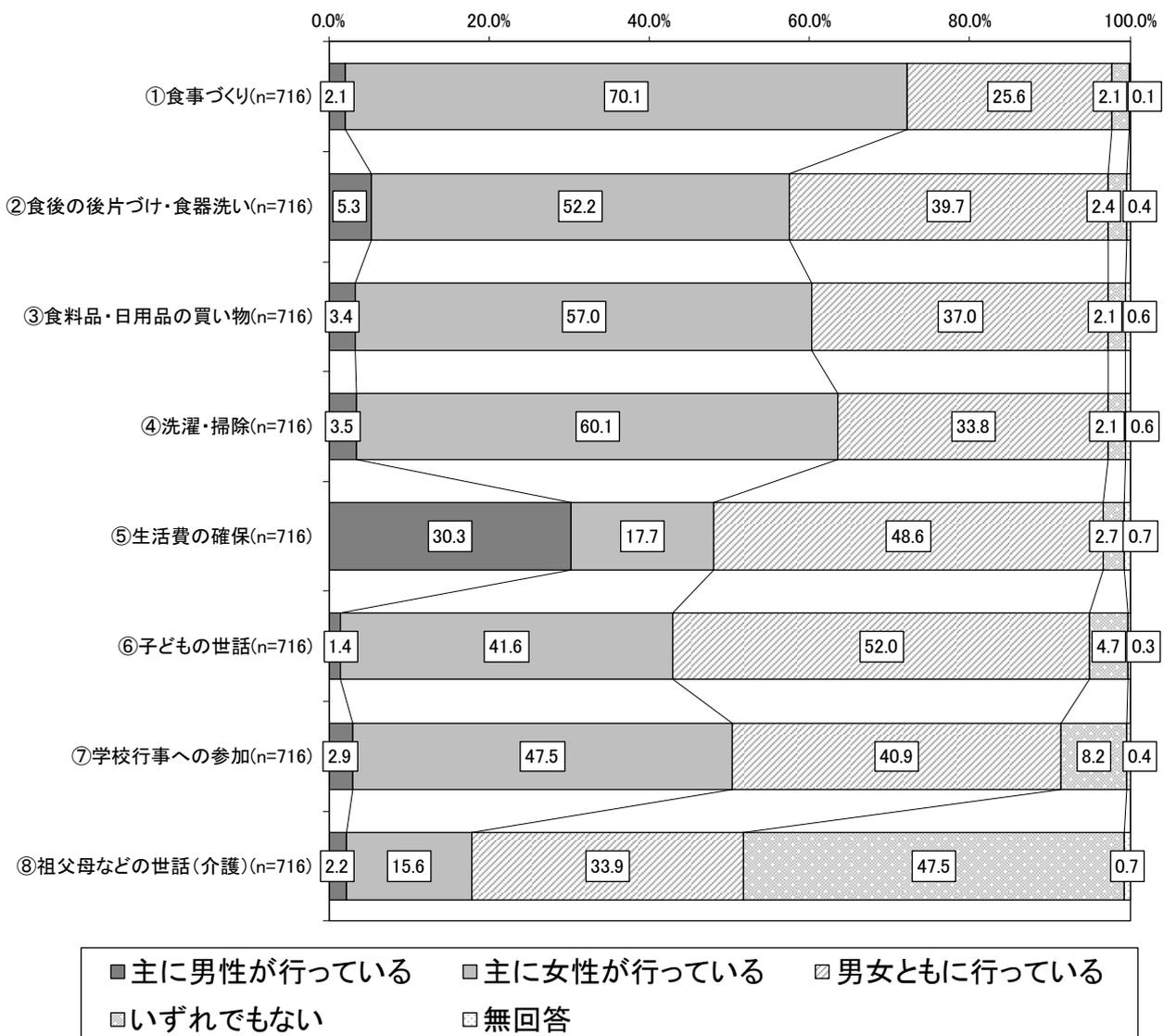
4. 日常の役割分担について

(1) 家庭内での役割分担

問4 あなたの家庭では、次の①～⑧の仕事は男性・女性どちらが行っていますか。あてはまる番号を1つだけ選んで○をつけてください。(①～⑧ごとに○は1つ)

- 女性の分担率が高いのは、「①食事づくり」、「②食事の後片付け・食器洗い」、「③食料品・日用品の買い物」、「④洗濯・掃除」、「⑥子どもの世話」、「⑦学校行事への参加」など家事にまつわるものであり、なかでも、「①食事づくり」では、70.1%が「主に女性が行っている」と回答している。
- 「男女ともに行っている」割合が最も高いのは、「⑤生活費の確保」、「⑥子どもの世話」、「⑧祖父母などの世話(介護)」である(「いずれでもない」を除く)。
- 「主に男性が行っている」が突出して高いのは、「⑤生活費の確保」であり、30.3%となっている。

図表 家庭内での役割分担-全体



- 男性は「⑤生活費の確保」、「⑥子どもの世話」、「⑦学校行事への参加」で「男女ともに行っている」と回答する割合が高くなっている。
- 一方、女性は「①食事づくり」、「②食後の後片づけ・食器洗い」、「③食料品・日用品の買い物」、「④洗濯・掃除」、「⑦学校行事への参加」は「主に女性が行っている」と回答する割合が高くなっている。

図表 家庭内での役割分担-性別

(%)

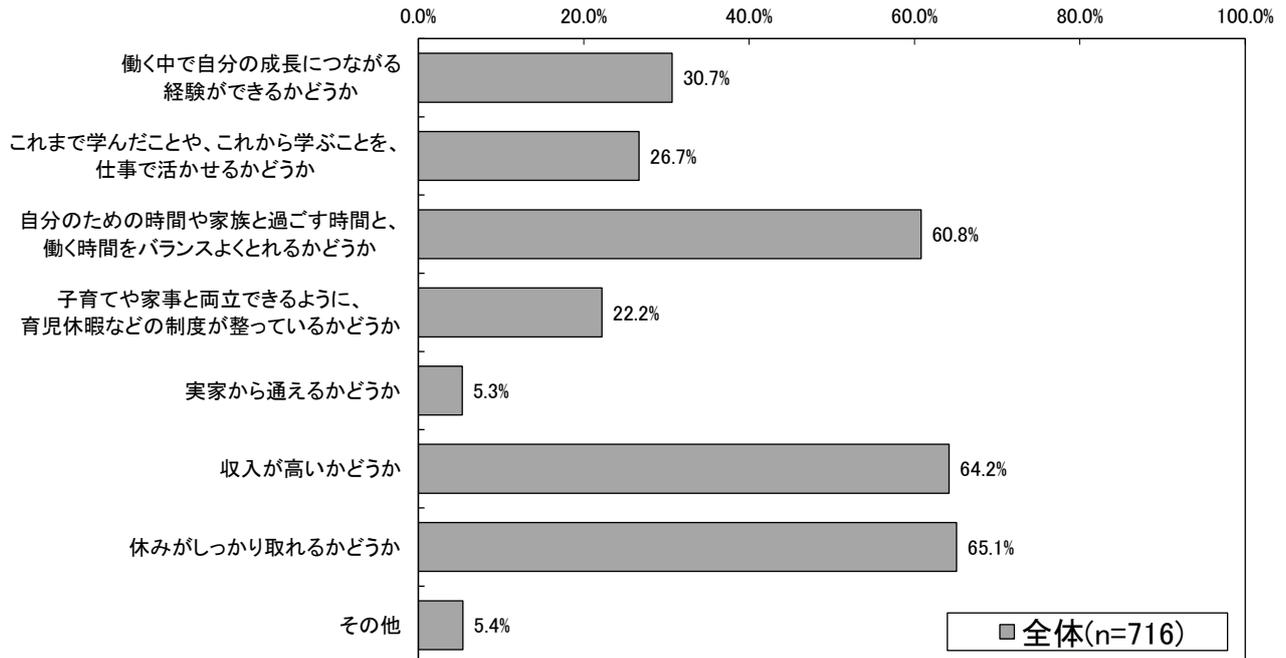
		主に男性が行っている	主に女性が行っている	男女ともに行っている	いずれでもない	無回答
①食事づくり	女性	1.4	74.6	22.8	1.2	0.0
	男性	2.6	66.5	28.5	2.4	0.0
	どちらともいえない	3.7	59.3	25.9	11.1	0.0
②食後の後片づけ・食器洗い	女性	5.2	55.6	38.0	1.2	0.0
	男性	5.6	48.5	42.4	3.2	0.3
	どちらともいえない	3.7	59.3	25.9	7.4	3.7
③食料品・日用品の買い物	女性	2.0	59.7	36.6	1.4	0.3
	男性	4.7	55.0	37.6	2.4	0.3
	どちらともいえない	3.7	48.1	37.0	7.4	3.7
④洗濯・掃除	女性	3.2	65.1	30.3	1.2	0.3
	男性	3.8	55.6	37.6	2.6	0.3
	どちらともいえない	3.7	51.9	33.3	7.4	3.7
⑤生活費の確保	女性	33.4	17.3	46.7	2.0	0.6
	男性	28.2	18.2	50.6	2.6	0.3
	どちらともいえない	18.5	18.5	48.1	11.1	3.7
⑥子どもの世話	女性	0.3	46.4	50.1	3.2	0.0
	男性	2.4	37.1	55.0	5.6	0.0
	どちらともいえない	3.7	40.7	37.0	14.8	3.7
⑦学校行事への参加	女性	1.2	56.8	37.5	4.6	0.0
	男性	4.7	39.1	45.3	10.6	0.3
	どちらともいえない	3.7	37.0	29.6	25.9	3.7
⑧祖父母などの世話(介護)	女性	1.2	17.9	31.7	48.4	0.9
	男性	3.5	13.2	37.1	46.2	0.0
	どちらともいえない	0.0	18.5	22.2	55.6	3.7

(2) 将来の職業選択

問5 あなたが将来、職業を選ぶときに、気にすることはありますか。あてはまる番号に、3つまで○をつけてください。(○は3つまで)

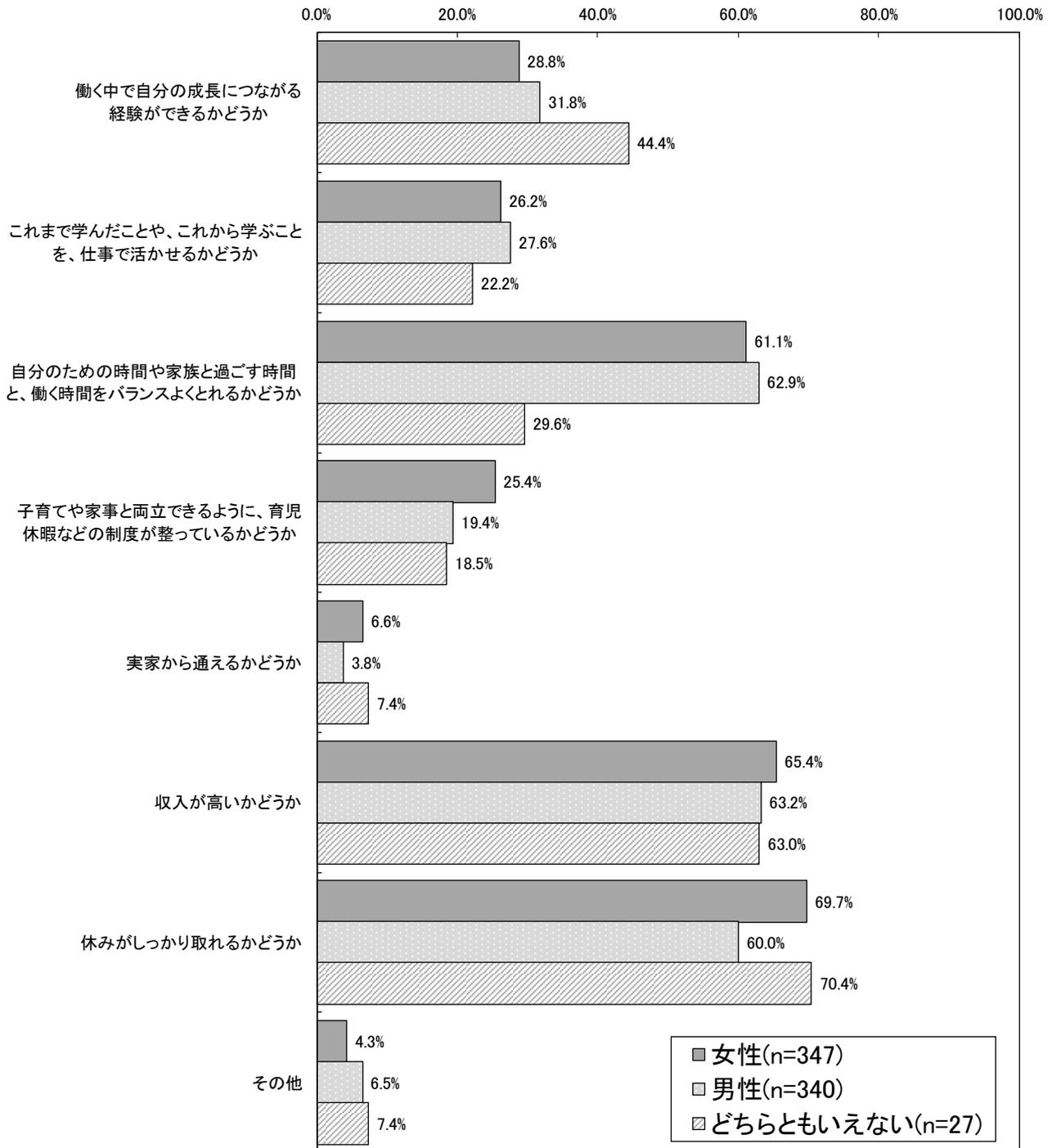
- 全体では、「休みがしっかり取れるかどうか」が最も高く 65.1%で、「収入が高いかどうか」が 64.2%、「自分のための時間や家族と過ごす時間と、働く時間をバランスよくとれるかどうか」が 60.8%などとなっている。

図表 将来の職業選択-全体



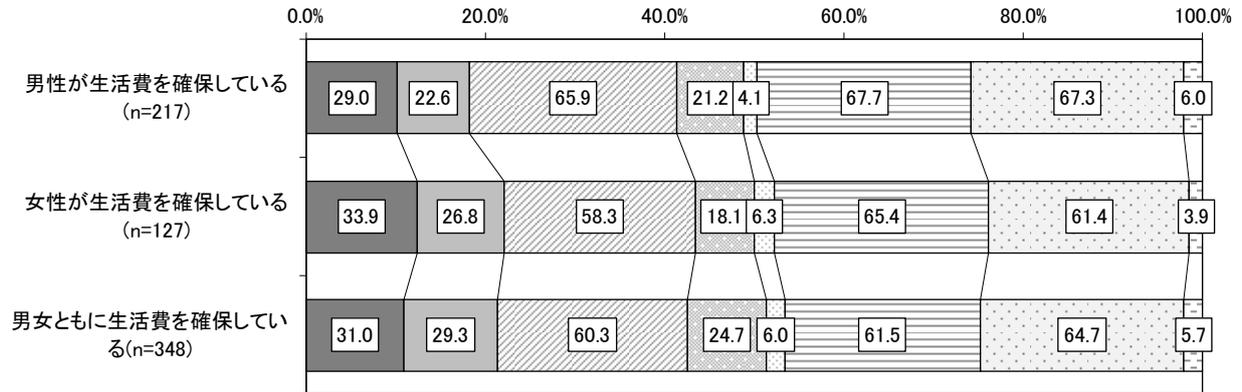
●男女間では大きな違いはないものの、「子育てや家事と両立できるように、育児休暇などの制度が整っているか」、「休みがしっかり取れるかどうか」については男性より女性の方が高くなっている。どちらともいえないは、「働く中で自分の成長につながる経験ができるかどうか」が高く、「自分のための時間や家族と過ごす時間と、働く時間をバランスよくとれるかどうか」が低くなっている。

図表 将来の職業選択-性別



●問4の「⑤生活費の確保」の選択肢別でみると、選択肢間で大きな差はなかった。

図表 将来の職業選択-問4の「⑤生活費の確保」の選択別



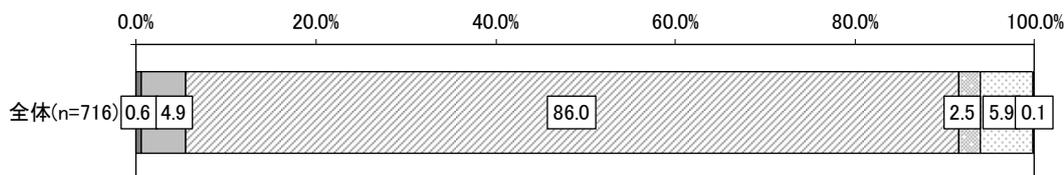
- 働く中で自分の成長につながる経験ができるかどうか
- これまで学んだことや、これから学ぶことを、仕事で活かせるかどうか
- 自分のための時間や家族と過ごす時間と、働く時間をバランスよくとれるかどうか
- 子育てや家事と両立できるように、育児休暇などの制度が整っているかどうか
- 実家から通えるかどうか
- 収入が高いかどうか
- 休みがしっかり取れるかどうか
- その他

(3) 家事の役割分担についての認識

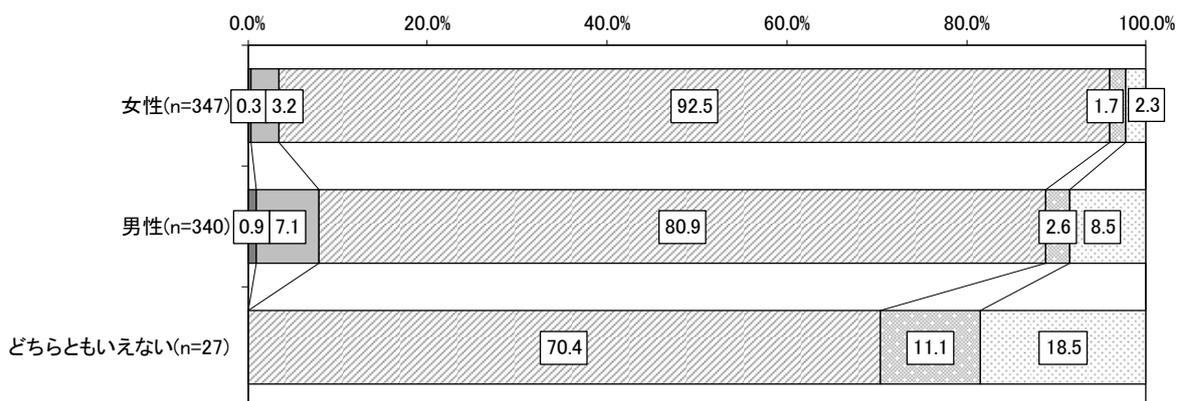
問6 あなたは家の中で、家事（料理・掃除・洗濯・子育てなど）は、誰がするのが一番よいと思いますか。あてはまる番号を1つだけ選んで○をつけてください。
 (○は1つ)

- 全体では、「女の人と男の人が協力してやるのがよい」が86.0%となっている。
- 性別にみると、「女の人が主にやるのがよい」と回答したのは、男性で最も高く、7.1%であった。女性では、「女の人と男の人が協力してやるのがよい」が他と比べて10ポイント以上高くなっている。

図表 家事の役割分担についての認識-全体



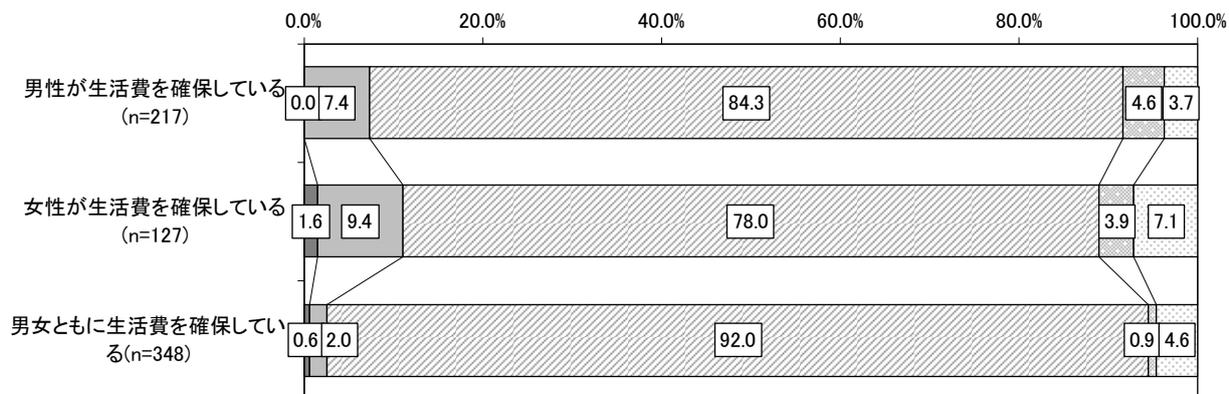
図表 家事の役割分担についての認識-性別



- 男の人が主にやるのがよい
- 女の人が主にやるのがよい
- 女の人と男の人が協力してやるのがよい
- その他
- わからない
- 無回答

●問4の「⑤生活費の確保」の選択肢別でみると、問4で男女ともに生活費を確保していると回答した人は「女の人と男の人が協力してやるのがよい」が92%で最も高くなっている。

図表 家事の役割分担についての認識-問4の「⑤生活費の確保」の選択肢別



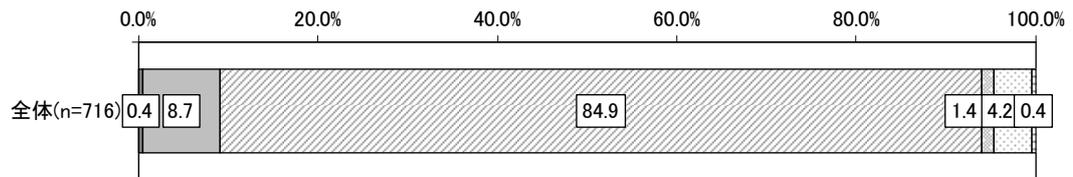
- 男の人が主にやるのがよい
- 女の人が主にやるのがよい
- 女の人と男の人が協力してやるのがよい
- その他
- わからない

(4) 子育ての役割分担についての認識

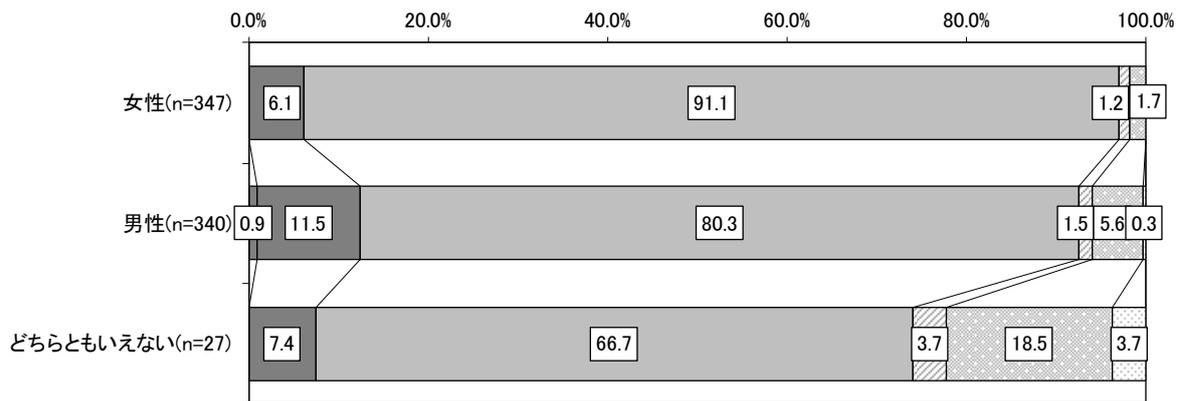
問7 あなたは、子どもが小さい時の子育ては、誰がするのが一番いいと思いますか。
あてはまる番号を1つだけ選んで○をつけてください。(○は1つ)

- 全体では、子育てについて、「女の人と男の人が協力してやるのがよい」が 84.9%となっている。
- 性別に見ると、男性に比べ女性の方が、10.8ポイント高くなっている。

図表 子育ての役割分担についての認識-全体



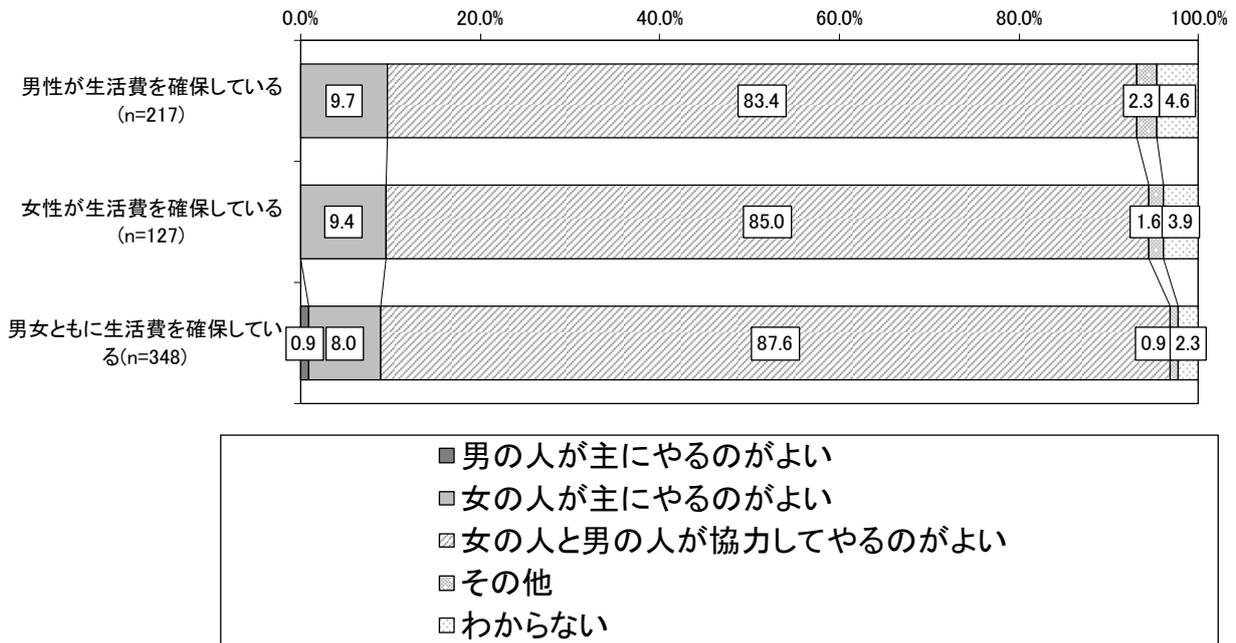
図表 子育ての役割分担についての認識-性別



- 男の人が主にやるのがよい
- 女の人が主にやるのがよい
- 女の人と男の人が協力してやるのがよい
- ▨ その他
- ▨ わからない
- ▨ 無回答

●問4の「⑤生活費の確保」の選択肢別でみると、選択肢間で大きな差はなかった。

図表 子育ての役割分担についての認識-問4の「⑤生活費の確保」の選択肢別

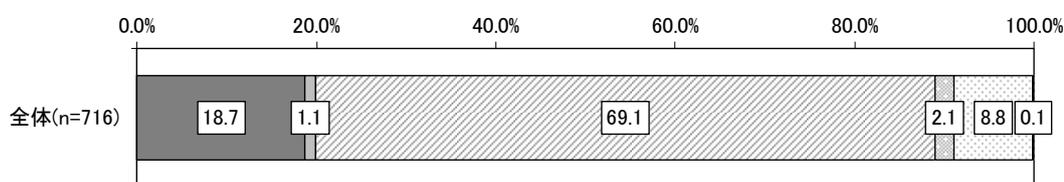


(5) 稼ぎ手の役割分担についての認識

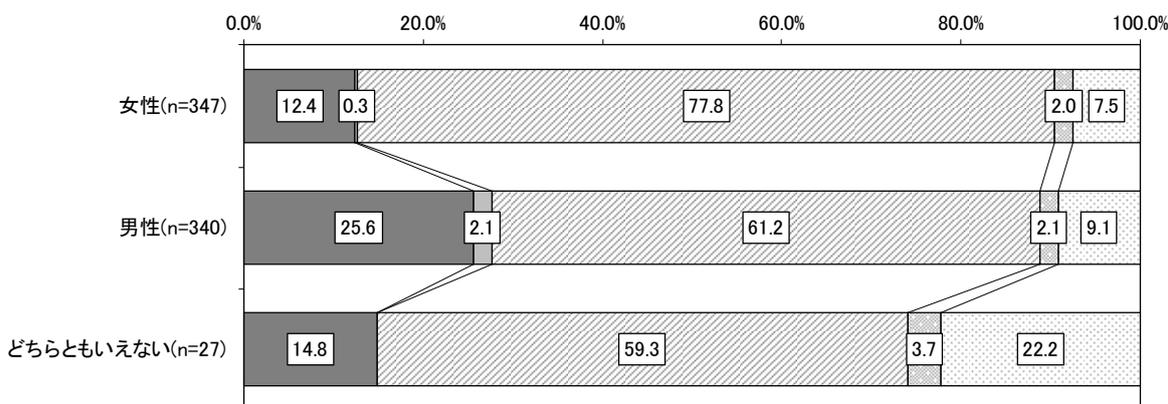
問8 あなたは、生活費をかせぐ仕事を、誰がするのが一番いいと思いますか。
あてはまる番号を1つだけ選んで○をつけてください。(○は1つ)

- 全体では、生活費をかせぐ仕事について、「女の人と男の人が協力してやるのがよい」が69.1%となっている。
- 性別では、「女の人と男の人が協力してやるのがよい」と回答したのは、女性の方が男性やどちらともいえないに比べて17ポイント程度高くなっている。他方で、「男の人が主にやるのがよい」と回答したのは、男性が25.6%であり、女性やどちらともいえないに比べ10ポイント程度高くなっている。

図表 稼ぎ手の役割分担についての認識-全体



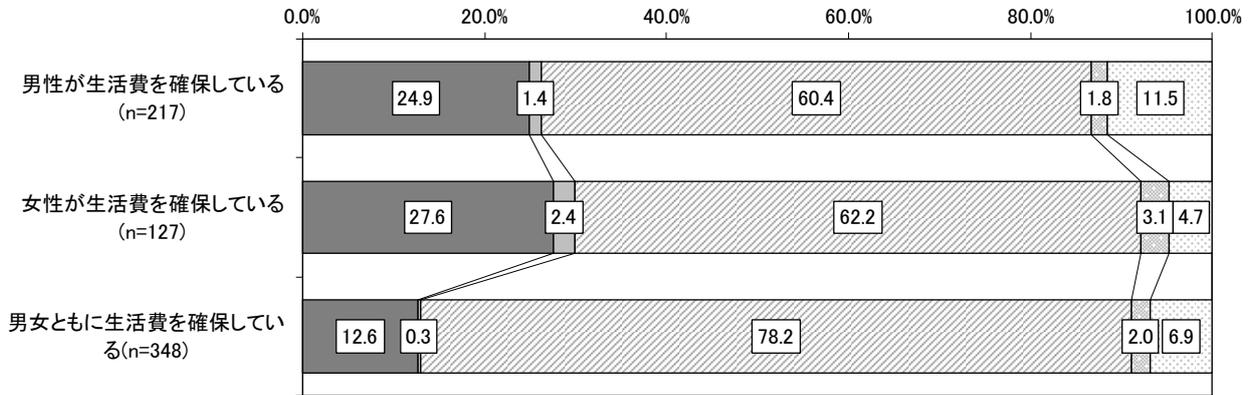
図表 稼ぎ手の役割分担についての認識-性別



- 男の人が主にやるのがよい
- 女の人が主にやるのがよい
- ▣ 女の人と男の人が協力してやるのがよい
- その他
- わからない
- 無回答

- 問4の「⑤生活費の確保」の選択肢別でみると、問4で「男性が生活費を確保している」及び「女性が生活費を確保している」と回答した人は、いずれも「男の人が主に（生活費の確保を）やるのがよい」を選択する人の割合が、全体に比べ高くなっている。
- 問4で「男女ともに生活費を確保している」と回答した人は、他の選択肢に比べ、「女の人と男の人が協力してやるのがよい」を選択する人の割合が高くなっている。

図表 稼ぎ手の役割分担についての認識-問4の「⑤生活費の確保」の選択肢別



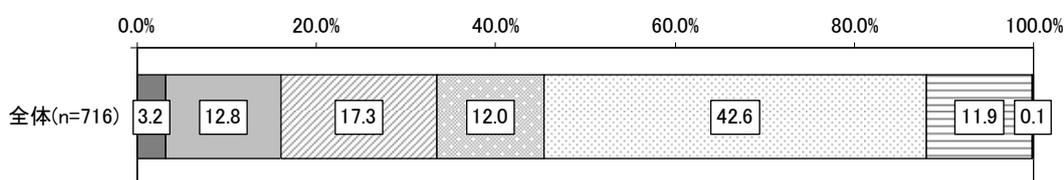
- 男の人が主にやるのがよい
- 女の人が主にやるのがよい
- 女の人と男の人が協力してやるのがよい
- その他
- わからない

(6) 「男は仕事・女は家庭」についての認識

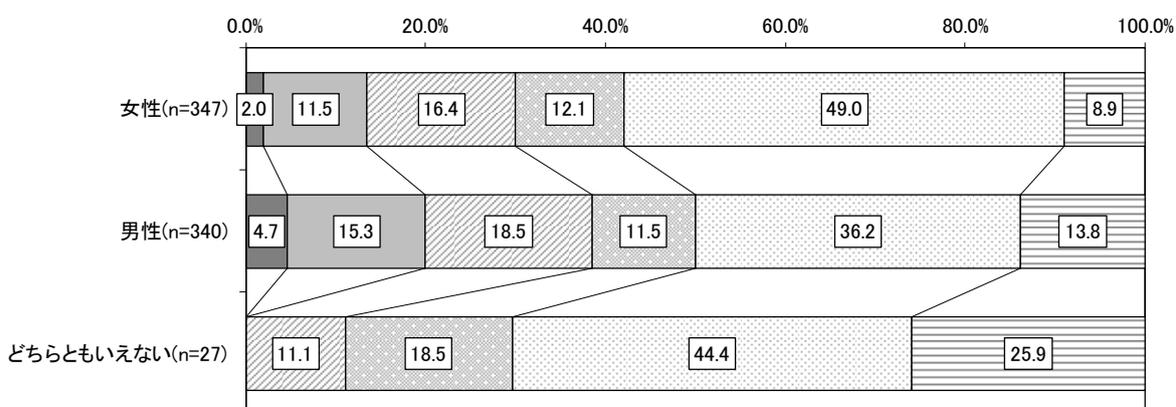
問9 「男は仕事・女は家庭」という考え方がありますが、あなたはこの考え方についてどう思いますか。あてはまる番号を1つだけ選んで○をつけてください。(○は1

- 全体の 54.6%が、「男は仕事・女は家庭」という考え方について、「どちらかといえばそう思わない」もしくは「そうは思わない」と回答しており、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」との回答は 16.0%となっている。
- 性別に見ると、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」の割合が最も高いのは男性で 20.0%、最も低いのはどちらともいえないで 0%だった。「どちらかといえばそう思わない」、「そうは思わない」の割合が高いのは、どちらともいえないで 62.9%、女性 61.1%であり、男性は 47.7%と他に比べ少なかった。

図表 「男は仕事・女は家庭」についての認識-全体



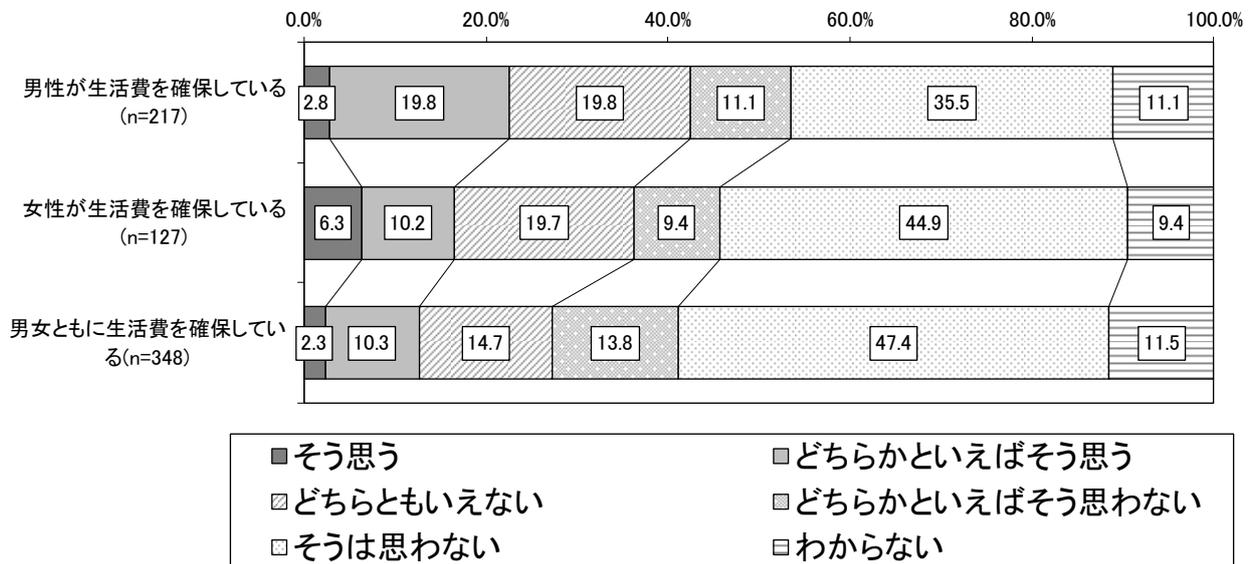
図表 「男は仕事・女は家庭」についての認識-性別



- | | |
|-------------|------------------|
| ■ そう思う | ■ どちらかといえばそう思う |
| ▨ どちらともいえない | ▨ どちらかといえばそう思わない |
| □ そうは思わない | □ わからない |
| □ 無回答 | |

●問4の「⑤生活費の確保」の選択肢別でみると、問4で「男性が生活費を確保している」と回答した人は、「男は仕事・女は家庭」という考え方について、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」との回答が比較的高く、「そうは思わない」との回答が比較的低くなっている。

図表 「男は仕事・女は家庭」についての認識-問4の「⑤生活費の確保」の選択肢別



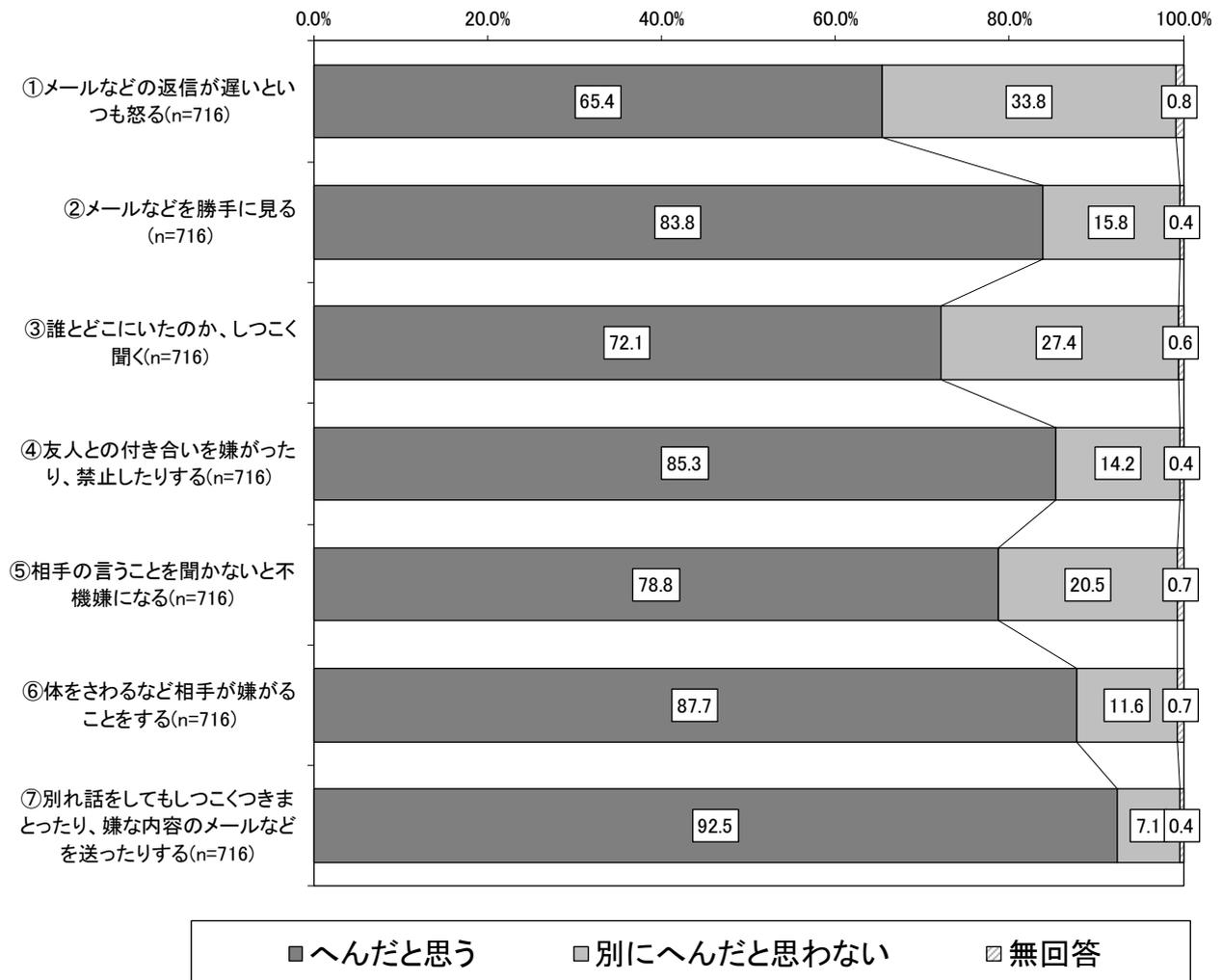
5. 恋人同士の関係について

(1) 恋人同士の関係

問10 恋人同士の交際について、次の①～⑦のような関係をどう思いますか。あてはまる番号を1つだけ選んで○をつけてください。(①～⑦ごとに○は1つ)

- 全体では、「②メールなどを勝手に見る」、「④友人との付き合いを嫌がったり、禁止したりする」、「⑥体をさわるなど相手が嫌がることをする」、「⑦別れ話をしてもしつこくつきまったり、嫌な内容のメールなどを送ったりする」について「へんだと思う」との回答が80%を超えている。
- 「①メールなどの返信が遅いといつも怒る」、「③誰とどこにいたのか、しつこく聞く」は、「別にへんだと思わない」との回答が25%を超えている。

図表 恋人同士の関係-全体



- いずれの項目においても、男性より女性の方が、「へんだと思う」の割合が高くなっている。その差が大きいのは、「⑥体をさわるなど相手が嫌がることをする」、「②メールなどを勝手に見る」となっている。

図表 恋人同士の関係-性別

(%)

		へんだと 思う	別にへんだ と思わない	無回答
①メールなどの返信が遅いといつも怒る	女性	69%	31%	0%
	男性	63%	36%	1%
	どちらともいえない	56%	41%	4%
②メールなどを勝手に見る	女性	89%	11%	0%
	男性	80%	20%	0%
	どちらともいえない	70%	30%	0%
③誰とどこにいたのか、しつこく聞く	女性	75%	25%	0%
	男性	70%	30%	1%
	どちらともいえない	67%	33%	0%
④友人との付き合いを嫌がったり、禁止したりする	女性	88%	12%	0%
	男性	84%	15%	1%
	どちらともいえない	74%	26%	0%
⑤相手の言うことを聞かないと不機嫌になる	女性	81%	18%	1%
	男性	77%	22%	0%
	どちらともいえない	74%	26%	0%
⑥体をさわるなど相手が嫌がることをする	女性	93%	7%	0%
	男性	83%	16%	1%
	どちらともいえない	81%	15%	4%
⑦別れ話をしてもしつこくつきまとったり、嫌な内容のメールなどを送ったりする	女性	95%	5%	0%
	男性	90%	9%	1%
	どちらともいえない	96%	4%	0%

男性 (n=340) 女性 (n=347) どちらともいえない (n=27)

(2) 交際相手への対応のしかた

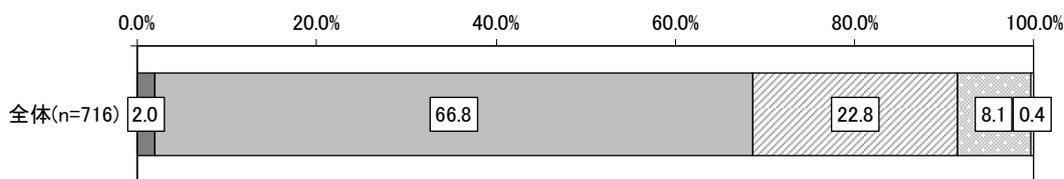
問11 あなたに交際相手（付き合っている相手）がいると仮定して、次のようなとき、あなたはどのように思いますか。あてはまる番号をそれぞれ1つだけ選んで○をつけてください。

①交際相手と意見が合わないとき

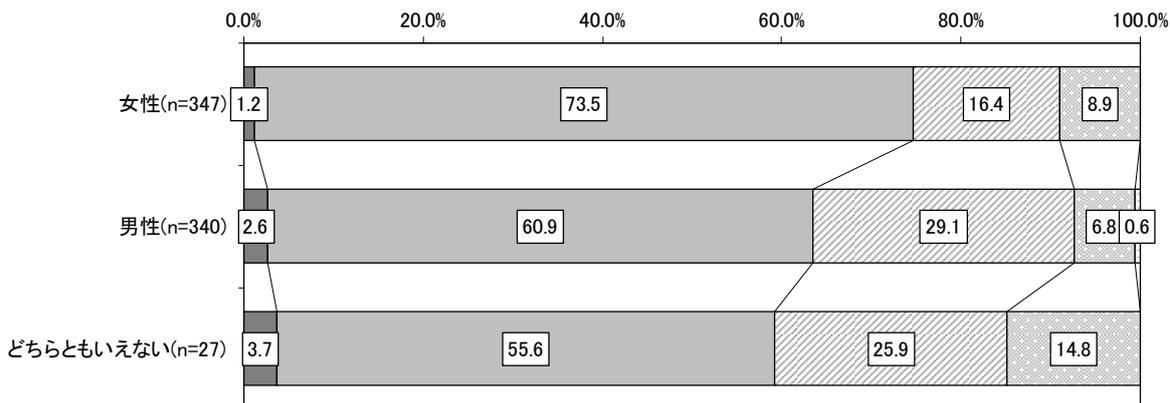
●全体では、「話し合いで決める」と回答した人が最も高く 66.8%となっており、性別で見ると、男性に比べ女性の方が12.6ポイント高くなっている。

また、男性の方が「自分の意見を言うが相手に合わせる」が他に比べ高い。

図表 交際相手と意見が合わないとき-全体



図表 交際相手と意見が合わないとき-性別

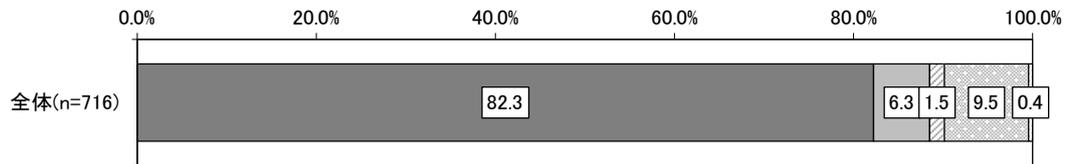


- 自分の意見を優先させる
- 話し合いで決める
- ▨ 自分の意見を言うが相手に合わせる
- ▨ 自分の意見は言わずに相手に合わせる
- 無回答

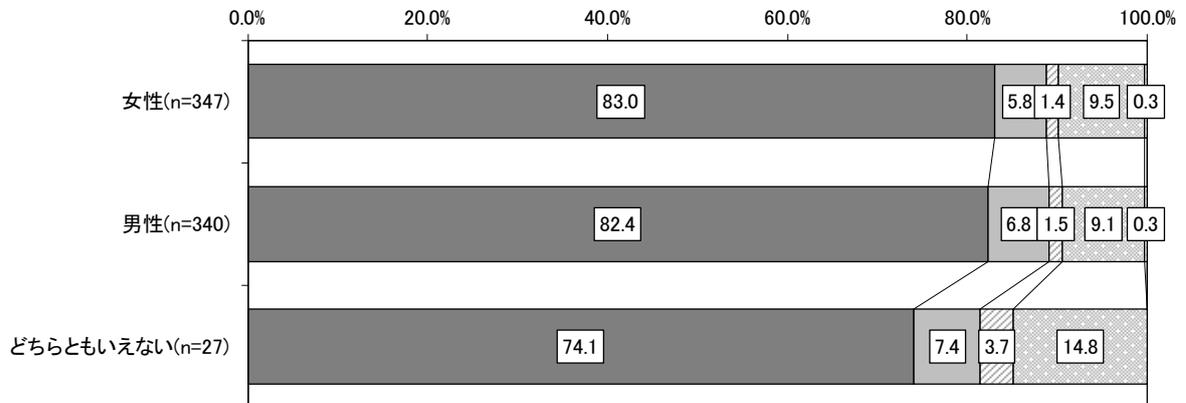
②交際相手に、暴力をふるってしまったとき

- 全体では、「どんな理由でも暴力はよくないので、反省し謝る」と回答した人が最も高く 82.3%となっている。
- 性別において男女では割合に大きな違いは見られないが、どちらともいえないは「どんな理由でも暴力はよくないので、反省し謝る」の割合が 74.1%で他に比べ割合が 10 ポイント程度少なくなっている。

図表 交際相手に、暴力をふるってしまったとき-全体



図表 交際相手に、暴力をふるってしまったとき-性別



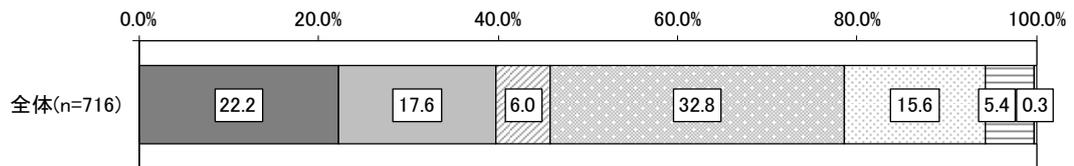
- どんな理由でも暴力はよくないので、反省し謝る
- 暴力をふるったことは良くないが、ふるわれる側にも問題があるので直させる
- 相手のためを思って暴力をふるったのであれば、仕方ない
- わからない
- 無回答

③交際相手に、暴力をふるわれたとき

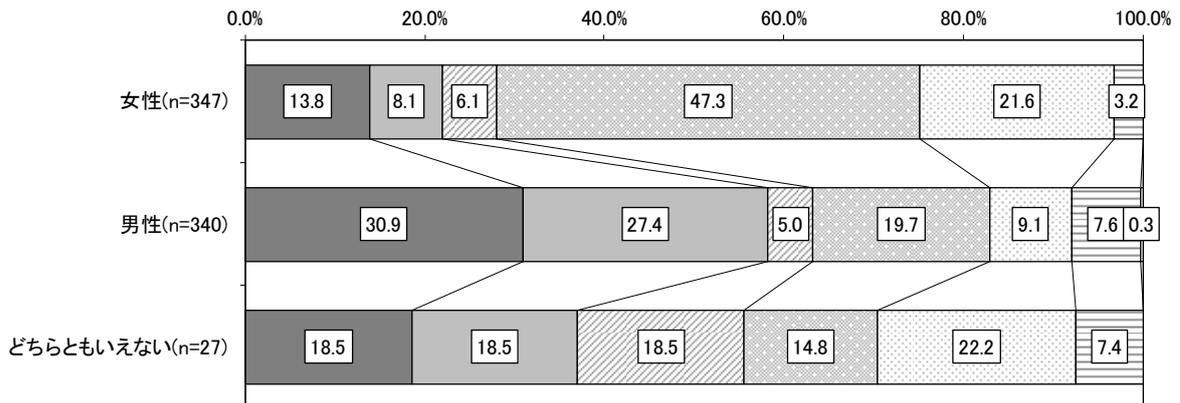
●全体では、「交際（付き合い）をやめる」が 32.8%と最も高く、「やめるようにきっぱり言う」が 22.2%、「多少はがまんする」が 17.6%などとなっている。

●性別では各項目の割合に大きな差がみられ、男性では、「やめるようにきっぱり言う」が 30.9%と最も高く、「多少はがまんする」が 27.4%、「交際（付き合い）をやめる」が 19.7%などとなっている。女性では、「交際（付き合い）をやめる」47.3%と最も高く、「助けてくれそうな人に相談する」が 21.6%、「やめるようにきっぱり言う」が 13.8%などとなっている。どちらともいえないは「助けてくれそうな人に相談する」が 22.2%、「やめるようにきっぱり言う」、「多少はがまんする」、「やり返す」が 18.5%などとなっている。

図表 交際相手に、暴力をふるわれたとき-全体



図表 交際相手に、暴力をふるわれたとき-性別



- | | |
|------------------|----------------|
| ■ やめるようにきっぱり言う | ■ 多少はがまんする |
| ▨ やり返す | ▨ 交際(付き合い)をやめる |
| □ 助けてくれそうな人に相談する | ▨ 何もしない |
| □ 無回答 | |

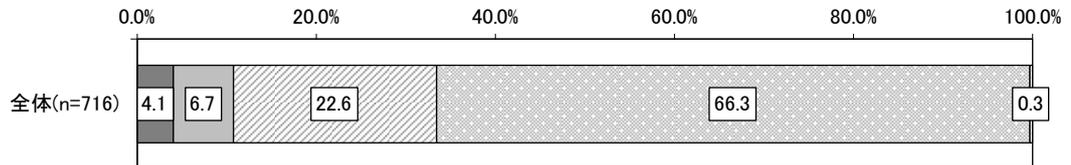
6. 心の性と体の性について

(1) 身体や心の性についての悩み

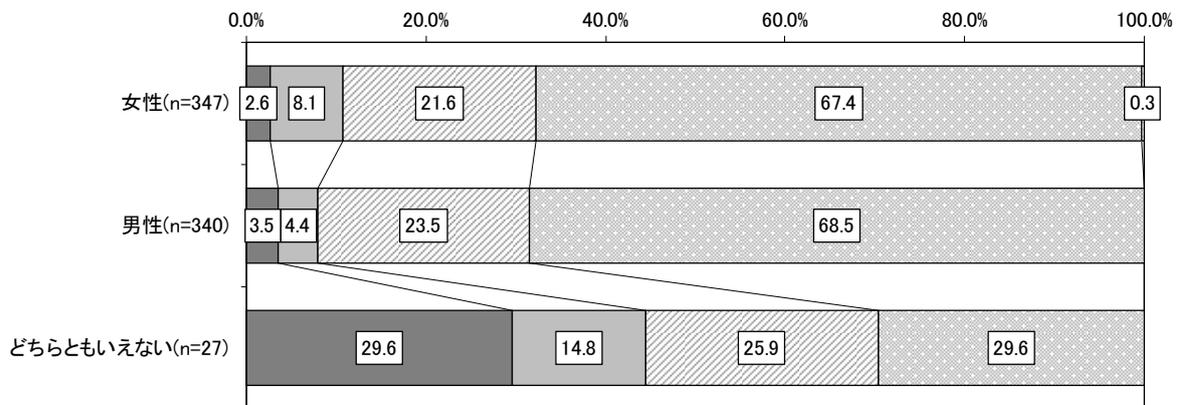
問12 あなたは、自分の身体の性別や心の性について悩んだりしたことはありますか。
あてはまる番号を1つだけ選んで○をつけてください。

- 全体では、「まったくない（一度もない）」が66.3%と最も高く、「ほとんどない」が22.6%などとなっている。
- 性別において、男女では割合について大きな違いは見られないが、どちらともいえないは、「ある」、「多少ある」を合わせると44.4%となり、他と比べ高くなっている。

図表 身体や心の性についての悩み-全体



図表 身体や心の性についての悩み-性別



■ある ■多少ある ■ほとんどない ■まったくない(一度もない) □無回答

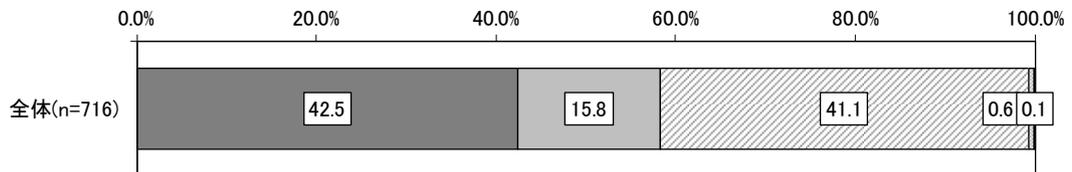
7. 男女共同参画について

(1) 男女共同参画についての知識

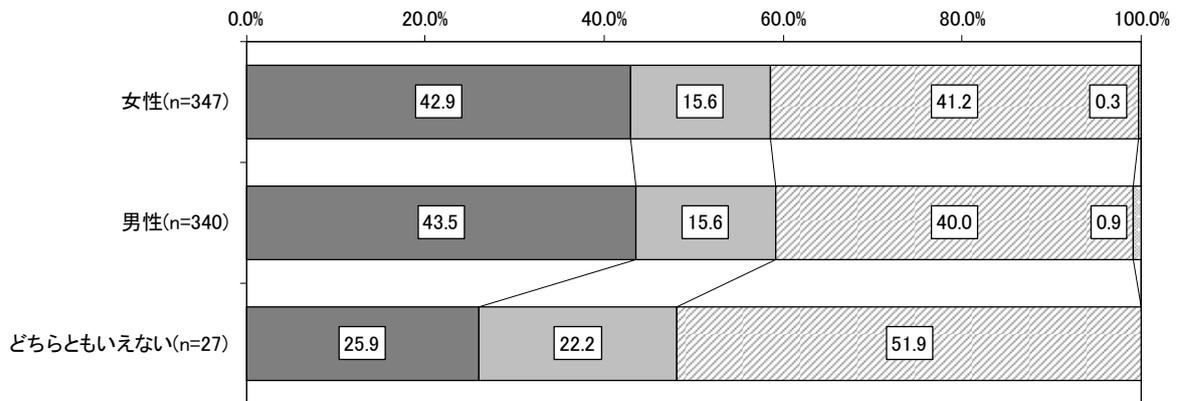
問13 あなたはこれまでに「男女共同参画」について、学んだことはありますか。男女共同参画の一例を挙げると、以下のような内容です。あてはまる番号を1つだけ選んで○をつけてください。

- 全体では、「学んだことがある」が42.5%と最も高く、「わからない」が41.1%などとなっている。
- 性別では男女の割合について大きな違いは見られないが、どちらともいえないは「わからない」が51.9%で最も高く、「学んだことがある」は他と比べて17ポイント程度低くなっている。

図表 男女共同参画についての知識-全体



図表 男女共同参画についての知識-性別



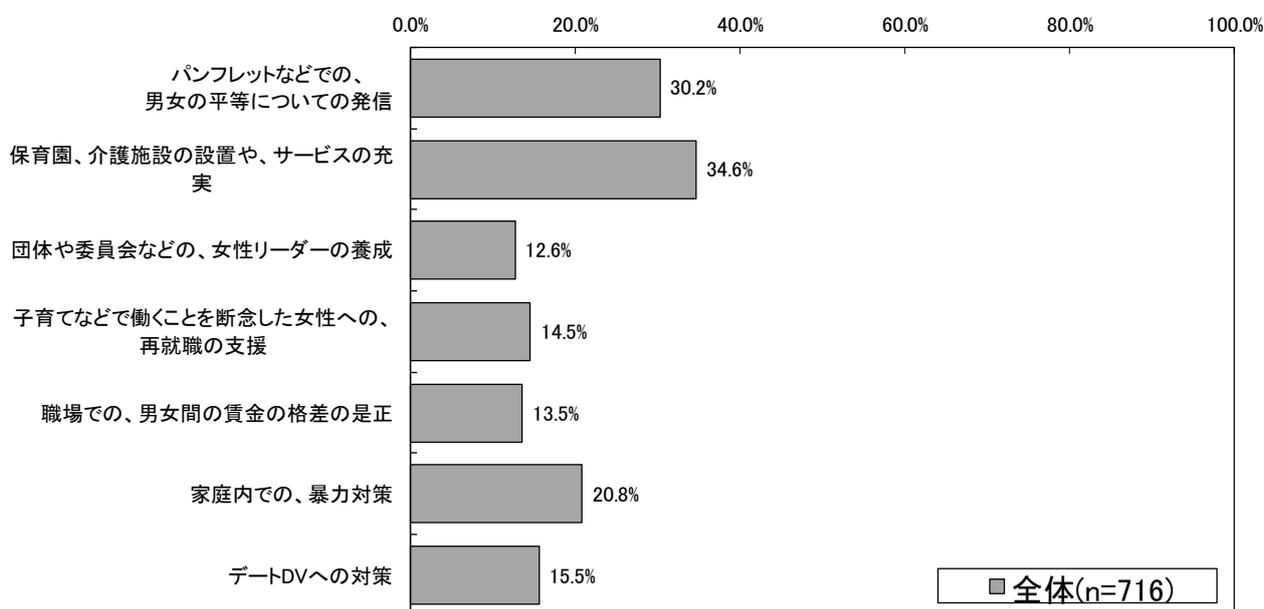
■学んだことがある □学んだことはない ▨わからない ■その他 □無回答

(2) 施策の認知

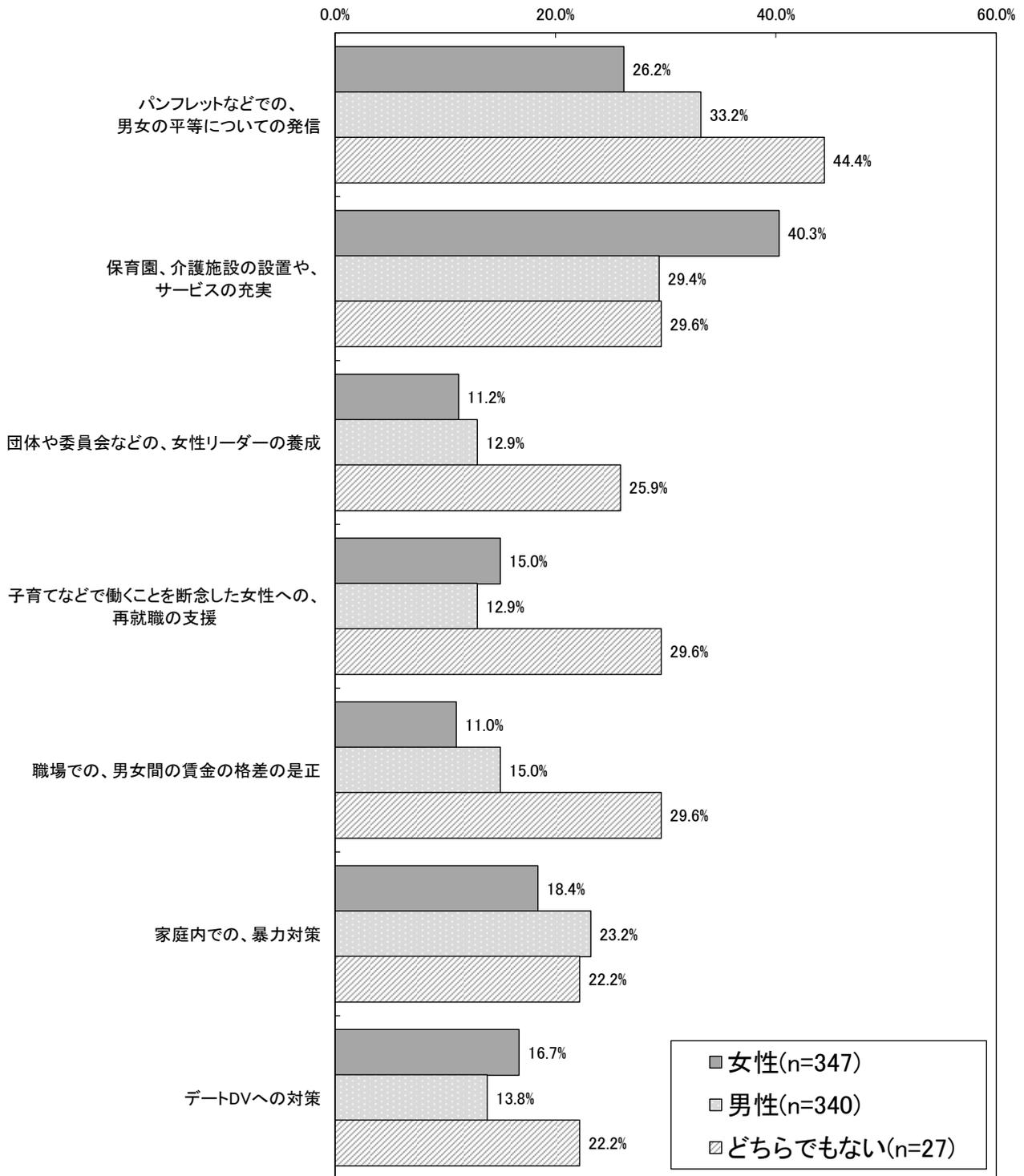
問14 生駒市では、以下のようなことに取り組んでいます。あなたが知っているもの、聞いたことがあるものを選んでください。あてはまる番号全部に○をつけてください。

- 全体では、「保育園、介護施設の設置や、サービスの充実」が 34.6%と最も高く、「パンフレットなどでの、男女の平等についての発信」が30.2%、「家庭内での、暴力対策」が20.8%などとなっている。
- 性別では、「保育園、介護施設の設置や、サービスの充実」と回答した女性が男性に比べ、10.9ポイント高くなっており、最も差が大きい。どちらともいえないは、「パンフレットなどでの、男女の平等についての発信」が44.4%で最も高くなっている。

図表 施策の認知-全体



図表 施策の認知-性別

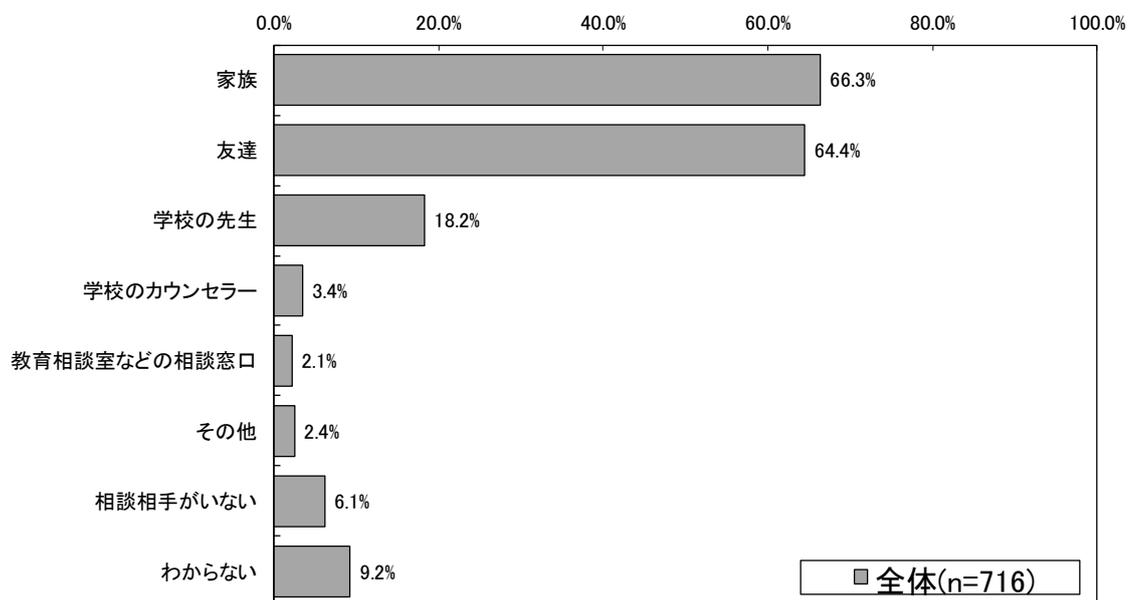


(3) 困った時の相談相手

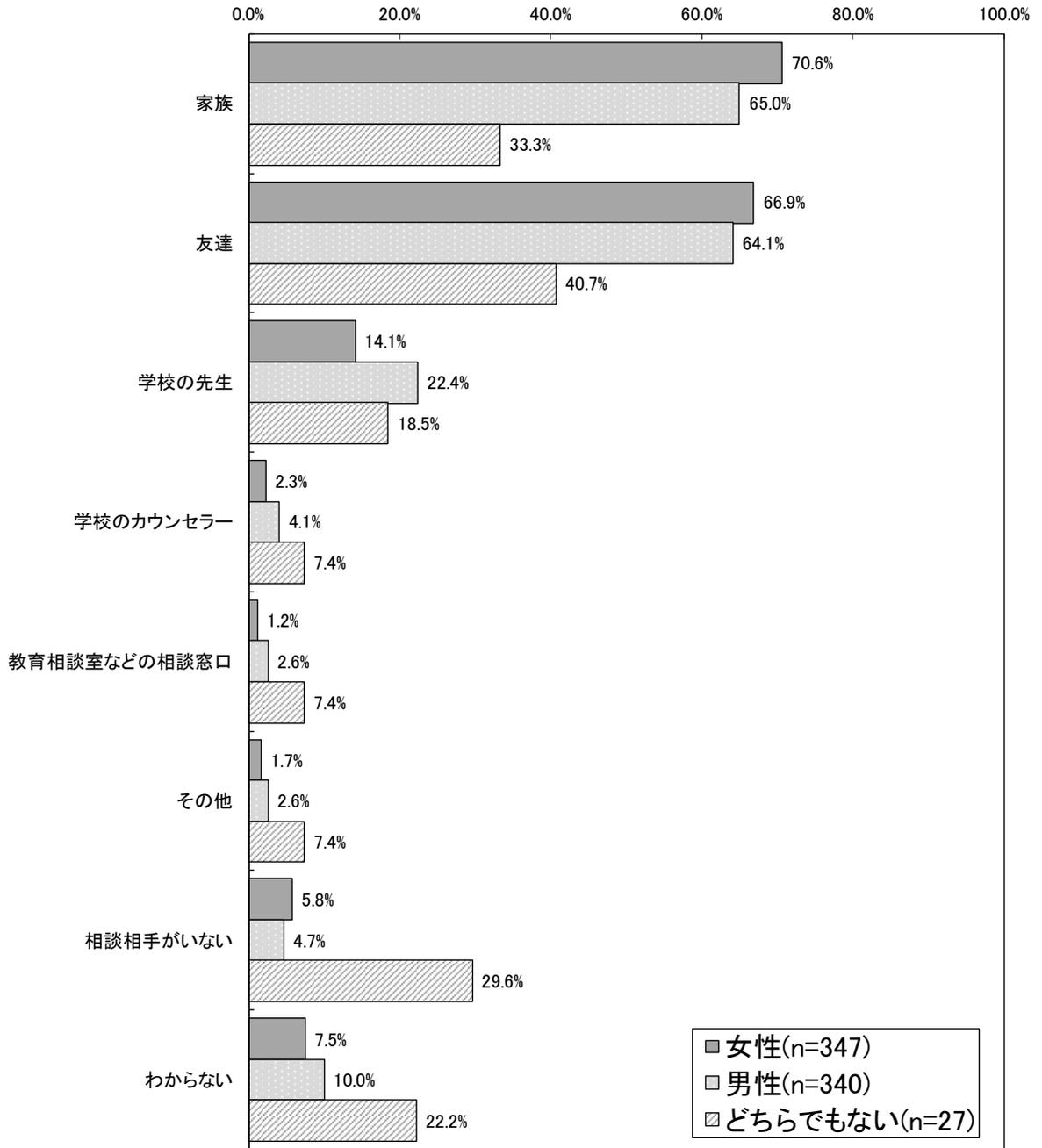
問16 あなたが困ったとき、誰に相談しますか。(または、誰に相談しましたか。) あてはまる番号全部に○をつけてください。

- 全体では、「家族」が66.3%と最も高く、「友達」が64.4%、「学校の先生」が18.2%などとなっている。
- 性別で見ると、「学校の先生」と回答した男性が女性に比べ、8.3ポイント高くなっている。どちらともいえないは、「友達」が40.7%で最も高く、「家族」が33.3%、「相談相手がない」29.6%となっており、「相談相手がない」は男性、女性と比べて突出して高くなっている。

図表 困ったときの相談相手-全体



図表 困ったときの相談相手-性別



8. 自由記述

【自由にご記入ください】

男子・女子といった性別に関係なく、一人ひとりの個性や能力をあらゆる場で十分に発揮できる「男女共同参画社会」を実現するためにはどうしたらいいと思いますか。

●自由記述については、以下のカテゴリーに分類できた。各カテゴリーの件数は以下のとおり。

自由記述のカテゴリー	回答の例	件数
個々の人を尊重する	<ul style="list-style-type: none"> ・互いの意見を尊重しあって、差別を無くしていく。 ・一人ひとりの個性を尊重する。 	76
「男は」、「女は」という固定的な価値観を変える	<ul style="list-style-type: none"> ・男女という性別で区別しない。 ・「男だから」や「女だから」といった発言をなくしていく。 	54
解決に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭内で男女が協力して育児をするべきだと思う。 ・海外で行われている、差別的なものをなくすプロジェクトや資料を見してみる。 	36
男女の差別をやめる、平等を実現する	<ul style="list-style-type: none"> ・男女どちらも平等に扱う。 ・全員が平等である社会。 	33
一人ひとりが取り組む	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりが性別で差別をしないように気をつける。 ・一人ひとりが多様性を理解する。 	22
環境などの改善	<ul style="list-style-type: none"> ・誰もが意見を言える場を作る。 ・性別などで差別されたらすぐに相談して加害者に警告できる環境を作る。 	20
情報発信、意識啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・いろんな人にこの活動を広める。 ・別に性別は関係ないということをもっと発信する。 	12
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・男女差別があるのは確か。だからといってすべてのトイレを男女共有にするのは違うと思う。 ・誰の視点でものを見るかによって変わってくるので、男女の平等性についてはわからないと回答した。 	15
合計		268

※一人によって複数の意見の回答があった場合、それぞれを分野に振り分けている。

Ⅲ アンケート調査のまとめ

○ 性別についての思い込み

「誰かから、『男だから〇〇するべき』や『女だから〇〇するべき』のように言われること」については、全体では「よく言われる」が 3.4%、「ときどき言われる」が 15.1%となっている。

性別にみると、どちらともいえないを選択した人で「よく言われる」が 14.8%となっており、男性（2.9%）や女性（2.9%）に比べ割合が高くなっている。

どんなことについて言われるかでは、女性は「ことばづかい」（71.2%）、男性は「スポーツ」（32.7%）、どちらともいえないを選択した人は「ことばづかい」（60.0%）と「服装」（60.0%）が最も高くなっている。

大人から言われている場合が多いと考えられるが、男性の割合が各項目とも低めである一方で、女性とどちらともいえないは割合が相対的に高く、「あるべき姿」のような固定観念が、子どもに影響を及ぼしていると思われる。

誰かから「男だから〇〇するべき」や「女だから〇〇するべき」のように言われた経験について、「嫌な気持ちをした」を選択した人は、全体では 40.2%となっていて、言われる内容も性別で異なる傾向がみられることから、性別についての思い込みは中学生をとりまく環境に存在しており、それらを取り除いていくことが求められている。

○ 男女の立場の平等について

様々な場面において男女の立場は平等になっていると思うかについては、「平等」と回答した人の割合が高くなっている項目は、「家庭のなかで」（75.0%）、「地域（近所）のなかで」（75.0%）、「学校のなかで」（69.8%）となっている。

「男性の方がとても優遇されている」、「どちらかといえば男性が優遇されている」を合わせた回答（男性優位）が最も多い項目は、「政治のなかで（国会議員や市議会議員など）」（女性優位 2.0%、男性優位 41.9%）となっている。

他方、「女性の方がとても優遇されている」、「どちらかといえば女性が優遇されている」を合わせた回答（女性優位）が最も多いのは「学校のなかで」（女性優位 15.4%、男性優位 4.1%）となっている。

いずれの性別においても男性優位が最も多くなっている選択肢は、「政治のなかで（国会議員や市議会議員など）」の項目である。平成 30 年 5 月に、「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律」が施行されたが、今回のアンケート調査では、中学生にとって政治分野における男女平等の認識が他と比べて低いことが確認できた。世界経済フォーラムが公表する「ジェンダー・ギャップ指数」が低スコアとなっているなど、政治分野における男女共同参画は、国際社会における日本の喫緊の課題となっており、それを中学生が日々の生活の中で感じ取っていると考えることもできる。

この結果を踏まえ、女性の政治への参画を促す取組と並行して、学校教育分野での周知・啓発を進めていくことが求められている。

○ 日常の役割分担の理想と現実について

家庭内で家事や子どもが小さい時の子育てを誰がするのが一番いいと思うかについては、「女の人と男の人が協力してやるのがよい」を選択した人の割合が、いずれも 8 割を超えている（家事：86.0%、子育て：84.9%）。他方で、生活費をかせぐ仕事を、誰がするのが一番いいと思うかについては、「女の人と男の人が協力してやるのがよい」が 69.1%で他の項目と比べ、少し低くなっている。

本調査と同時期に実施した、市民アンケート調査では、家事・育児等の役割分担の理想について、「半分ずつ負担」が 8 割を超えた項目は一つもなかった。中学生の回答では 8 割を超えていることから、中学 3 年生の世代は大人よりも男女平等を指向していることを示していると考えられる。

ただし、市民アンケート調査の家事・育児等の役割分担状況の現実を見ると、「食事づくり」、「食器の後片づけ・食器洗い」、「食料品・日用品の買い物」、「洗濯・掃除」、「子どもの世話」、「学校行事への参加」では、「主に女性が行っている」を選択した人の割合が「主に男性が行っている」を選択した人の割合に比べ、かなり高くなっており、現実的には女性の家事・育児等の負担が大きいことが分かる。また、本調査においても、家庭内での役割分担については、女性の分担率が高いことが見て取れる。

この偏りを平等へと近づけていけるように取り組むことが、今後の社会全体の課題といえる。

○ 恋人同士の関係について

恋人同士の交際における対応の仕方については、いずれの項目においても女性の方が男性よりも「へんだと思う」の割合が高くなっている。

「メールなどの返信が遅いといつも怒る」は「へんだと思う」という回答が全体で 65.4%ある一方で、約 3 割が「別にへんだと思わない」を選択している。

交際相手と意見が合わないときには、「話し合いで決める」が全体で 66.8%と最も多く、次いで「自分の意見を言うが相手に合わせる」が 22.8%となっている。「自分の意見を言うが相手に合わせる」は、性別で見ると、男性 29.1%であるのに対し、女性は 16.4%、どちらともいえないは 25.9%で差が見られる。

また、交際相手に暴力をふるわれたときの対応として「やめるようにきっぱり言う」が、男性 30.9%であるのに対し、女性が 13.8%であるなど、性別で見たときに交際相手への対応に大きく差があるものが見受けられる。

このような差を把握して、交際相手に対して適切な対応ができるような教育や啓発が引き続き求められている。

○ 心の性と体の性について

心の性と体の性について悩んだ経験は、性別についてみると、男性と女性では約 9 割の人が「ほとんどない」または「まったくない（一度もない）」と回答しているのに対し、どちらともいえないを選んだ人は、「ある」が 29.6%、「多少ある」が 14.8%となっている。どちらともいえないは回答者全体の 3.8%と、クラスに 1 人ほどいることになる。

性的マイノリティであるかどうかに関わらず、すべての人が自分らしく生きられる地域社会になるよう、相互理解と環境を整備する取組が求められている。

○ 男女共同参画について

生駒市の取組で知っているもの、聞いたことがあるものについては、「保育園、介護施設の設置や、サービスの充実」の割合が 34.6%と最も高く、次いで「パンフレットなどでの、男女の平等についての発信」が 30.2%などとなっている。

他方で、割合が低いものとしては、「団体や委員会などの、女性リーダーの養成」(12.6%)、「職場での、男女間の賃金の格差の是正」(13.5%) などがある。現時点では、関わることのできる社会活動が限られていることが、認知度に影響していると思われる。

今後は、行政の様々な取組に関する情報が、幅広い年代に届くような広報や周知を行う必要がある。

IV 資料・使用した調査票

性別についての思い込みについて

問1-1 あなたは誰かから、「男だから〇〇するべき」や「女だから〇〇するべき」のように言われることはありますか。あてはまる番号を1つだけ選んで○をつけてください。

(○は1つ)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 よく言われる | 2 ときどき言われる |
| 3 めったに言われない | 4 ぜんぜん言われない |

問1-2 問1-1で「よく言われる」または「ときどき言われる」と答えた方に聞きます。どんなことについて言われますか。あてはまる番号全部に○をつけてください。

(○はいくつでも)

1 ことばづかい	2 服装	3 食事の仕方
4 すわり方	5 歩き方	6 お手伝い
7 勉強	8 整理整頓	9 テレビ番組
10 友達関係	11 家に帰る時間	12 スポーツ
13 お金の使い方	14 泣いたとき	
15 その他 ()		

問1-3 問1-1で「よく言われる」または「ときどき言われる」と答えた方に聞きます。あなたはその時どんな気持ちになりましたか。あてはまる番号を1つだけ選んで○をつけてください。

(○は1つ)

- | | |
|--------------|-------------|
| 1 いやな気持ちでした | 2 その通りだと思った |
| 3 なんとも思わなかった | 4 その他 () |

男女の立場の平等について

問2 次の①～⑦の場面で、男女の立場は平等になっていると思いますか。あてはまる番号を1つだけ選んで○をつけてください。(①～⑦ごとに○は1つ)

	男性の方がとても優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等	どちらかといえば女性が優遇されている	女性の方がとても優遇されている	わからない
①家庭のなかで	1	2	3	4	5	6
②地域(近所)のなかで	1	2	3	4	5	6
③学校のなかで	1	2	3	4	5	6
④法律や制度のなかで	1	2	3	4	5	6
⑤政治のなかで(国会議員や市議会議員など)	1	2	3	4	5	6
⑥習慣・しきたりなど	1	2	3	4	5	6
⑦社会全体のなかで	1	2	3	4	5	6

問3 あなたは、次にあげるような学校生活の場面で、男女は平等になっていると思いますか。あてはまる番号を1つだけ選んで○をつけてください。

(①～⑤ごとに○は1つ)

	男性の方がとても優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等	どちらかといえば女性が優遇されている	女性の方がとても優遇されている	わからない
①学級や生徒会の役員を決めるとき	1	2	3	4	5	6
②掃除や給食配膳などの仕事をするとき	1	2	3	4	5	6
③部活動のとき	1	2	3	4	5	6
④委員会活動のとき	1	2	3	4	5	6
⑤授業のとき	1	2	3	4	5	6

日常の役割分担について

問4 あなたの家庭では、次の①～⑧の仕事は男性・女性どちらが行っていますか。あてはまる番号を1つだけ選んで○をつけてください。(①～⑧ごとに○は1つ)

	主に男性が行っている	主に女性が行っている	男女ともに 行っている	いずれでもない
①食事づくり	1	2	3	4
②食後の後片づけ・食器洗い	1	2	3	4
③食料品・日用品の買い物	1	2	3	4
④洗濯・掃除	1	2	3	4
⑤生活費の確保	1	2	3	4
⑥子どもの世話	1	2	3	4
⑦学校行事への参加	1	2	3	4
⑧祖父母などの世話(介護)	1	2	3	4

問5 あなたが将来、職業を選ぶときに、気にすることはありますか。あてはまる番号に、3つまで○をつけてください。(○は3つまで)

1	働く中で自分の成長につながる経験ができるかどうか
2	これまで学んだことや、これから学ぶことを、仕事で活かせるかどうか
3	自分のための時間や家族と過ごす時間と、働く時間をバランスよくとれるかどうか
4	子育てや家事と両立できるように、育児休暇などの制度が整っているかどうか
5	実家から通えるかどうか
6	収入が高いかどうか
7	休みがしっかり取れるかどうか
8	その他 ()

問6 あなたは家の中で、家事（料理・掃除・洗濯・子育てなど）は、誰がするのが一番よいと思いますか。あてはまる番号を1つだけ選んで○をつけてください。

(○は1つ)

1 男の人が主にやるのがよい	2 女の人が主にやるのがよい
3 女の人と男の人が協力してやるのがよい	4 その他 ()
5 わからない	

問7 あなたは、子どもが小さい時の子育ては、誰がするのが一番いいと思いますか。あてはまる番号を1つだけ選んで○をつけてください。(○は1つ)

1 男の人が主にやるのがよい	2 女の人が主にやるのがよい
3 女の人と男の人が協力してやるのがよい	4 その他 ()
5 わからない	

問8 あなたは、生活費をかせぐ仕事を、誰がするのが一番いいと思いますか。あてはまる番号を1つだけ選んで○をつけてください。

(○は1つ)

1 男の人が主にやるのがよい	2 女の人が主にやるのがよい
3 女の人と男の人が協力してやるのがよい	4 その他 ()
5 わからない	

問9 「男は仕事・女は家庭」という考え方がありますが、あなたはこの考え方についてどう思いますか。あてはまる番号を1つだけ選んで○をつけてください。

(○は1つ)

1 そう思う	2 どちらかといえばそう思う
3 どちらともいえない	4 どちらかといえばそう思わない
5 そうは思わない	6 わからない

恋人同士の関係について

問10 恋人同士の交際について、次の①～⑦のような関係をどう思いますか。あてはまる番号を1つだけ選んで○をつけてください。

(①～⑦ごとに○は1つ)

	へんだと思う	別に へんだと思わない
①メールなどの返信が遅いといつも怒る	1	2
②メールなどを勝手に見る	1	2
③誰とどこにいたのか、しつこく聞く	1	2
④友人との付き合いを嫌がったり、禁止したりする	1	2
⑤相手の言うことを聞かないと不機嫌になる	1	2
⑥体をさわるなど相手が嫌がることをする	1	2
⑦別れ話をしてもしつこくつきまとったり、嫌な内容のメールなどを送ったりする	1	2

※「メールなど」とは、LINEなどのSNS全般を含みます

問 14 生駒市では、以下のようなことに取り組んでいます。あなたが知っているもの、聞いたことがあるものを選んでください。あてはまる番号全部に○をつけてください。
(○はいくつでも)

- | | |
|---|----------------------------|
| 1 | パンフレットなどでの、男女の平等についての発信 |
| 2 | 保育園、介護施設の設置や、サービスの充実 |
| 3 | 団体や委員会などの、女性リーダーの養成 |
| 4 | 子育てなどで働くことを断念した女性への、再就職の支援 |
| 5 | 職場での、男女間の賃金の格差の是正 |
| 6 | 家庭内での、暴力対策 |
| 7 | デートDVへの対策 |

問 15 あなたの性別をおたずねします。
あてはまる番号を1つだけ選んで○をつけてください。

(○は1つ)

- | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---------------------|
| 1 | 男 | 2 | 女 | 3 | どちらともいえない、または答えたくない |
|---|---|---|---|---|---------------------|

問 16 あなたが困ったとき、誰に相談しますか。(または、誰に相談しましたか。)あてはまる番号全部に○をつけてください。

(○はいくつでも)

- | | |
|---|--------------|
| 1 | 家族 |
| 2 | 友達 |
| 3 | 学校の先生 |
| 4 | 学校のカウンセラー |
| 5 | 教育相談室などの相談窓口 |
| 6 | その他 () |
| 7 | 相談相手がいない |
| 8 | わからない |

ひとりで悩んでいませんか？
相談してくださいね。

■学校で使用しているクロームブックに、相談窓口のショートカットを掲載しています。

■参画ネットなら「デートDV電話・メール相談」

メール相談：datedvnara@yahoo.co.jp

- ・メールの返事は5日程度かかることがあります
- ・携帯電話の設定を「PCメール受信可能」にしてください

電話相談：090-8140-8061

- ・土曜日（春・夏・冬休みは水曜日も。年末年始は除く）
- ・11:00～16:00
- ・相談日時は変更されることもあります

【自由にご記入ください】

男子・女子といった性別に関係なく、一人ひとりの個性や能力をあらゆる場で十分に発揮できる「男女共同参画社会」を実現するためにはどうしたらいいと思いますか。

ご協力ありがとうございました。

令和5年度
男女共同参画についての
中学生アンケート調査報告書
令和6年3月

発行 生駒市
編集 生駒市 市民部 人権施策課
〒630-0288 奈良県生駒市東新町8番38号
電話 0743-74-1111 (代表)